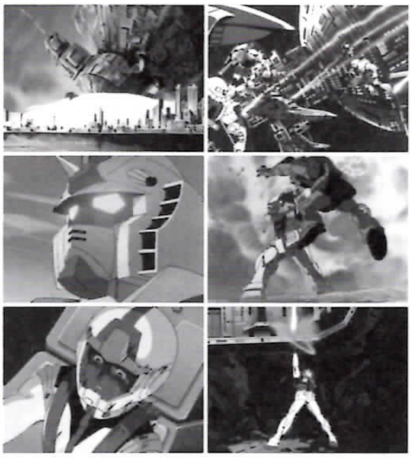


MASTER GRADE 3.0 RX-78-2 GUNDAM
E.F.S.F. PROTOTYPE CLOSE-COMBAT MOBILE SUIT
© 創通・サンライズ
GUNDAM.INFO
Search
www.gundam.info
バンダイホビーサイト www.bandai-hobby.net/
MG
MASTER GRADE
Ver.3.0
地球連邦軍白兵戦用モビルスーツ
RX-78-2 ガンダム Ver.3.0
1/100 スケール マスターグレードモデル
BANDAI 2013 MADE IN JAPAN
※画像と商品とは多少異なりますのでご了承ください。
BANDAI
0183655

地球連邦軍のMS開発技術――マグネット・コーティング技術とMSの融合

HISTORY



ジオン公国は地球連邦からの独立宣言と同時に、宣戦を布告。
ジオン独立戦争――後に一年戦争と呼ばれる戦乱の始まりである。
当初劣勢であった地球連邦軍は、戦争末期の反攻作戦によって劣勢を覆す。
地球連邦軍の躍進の陰には、ホワイトベース隊こと「第13独立部隊」の存在があった。

一年戦争緒戦におけるジオン公国軍の快進撃は新兵器MS（モビルスーツ）によるものであった。既存の兵器を遥かに凌駕するMSの性能とミノフスキー粒子により、ジオン公国軍は地球連邦軍を圧倒し、地球の大半を勢力圏に置いたのである。しかし、地球連邦軍もただ手をこまねいていたわけではなかった。彼らも極秘裏に独自のMSの開発を進めていたのである。

U.C.0079.09.18、偶然から実戦に投入されたそのMS――RX-78-2 ガンダムは、ジオン公国軍のMS-06F ザクII F型を圧倒する戦闘力を発揮。その後もジオン公国軍の新型機、そしてエースパイロットを撃破していく。

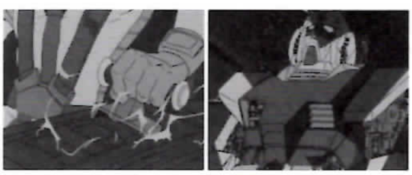
これほどの活躍はガンダムの性能だけで成し遂げたわけではない。パイロットを務めたアムロ・レイの能力と急激な成長も戦果を支える重要な要素となっていたのである。そして、彼は人類の進化の形――ニュータイプへとその能力を開花させていくのであった。

アムロのニュータイプとしての成長は、ガンダムの性能をも超えつつあった。彼の操縦にガンダムが反応しきれなくなったのである。この事態を受けて地球連邦軍はガンダムにマグネット・コーティング処理を施すことを決定。これによりガンダムはアムロに追随する反応速度を獲得し、一年戦争の最終決戦となるア・バオア・クー攻略戦に臨むのであった。

E.F.S.F.

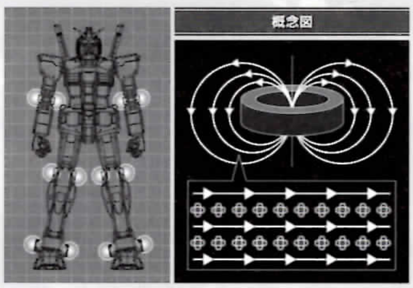
マグネット・コーティングの必要性 アムロの急成長とガンダムの反応限界

「サイド7遭遇戦」以来、"連邦の白い悪魔"と呼ばれ、ジオン公国軍に恐れられたRX-78-2 ガンダムだが、一年戦争末期に入ると問題も露呈し始めた。その最たるものが反応速度の限界だった。ニュータイプとして覚醒し始めたアムロ・レイの反応速度にガンダムが追随できなくなったのだ。



入力から動作までのタイムラグを「遅い」と感じるようになったアムロ。ガンダムの方が成長著しいアムロの足かせになりつつあった。

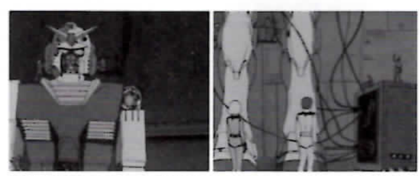
マグネット・コーティングの処理箇所



マグネット・コーティングはガンダムの関節部分に施された。駆動部分の抵抗や干渉を減らすことで、動作スピードを向上させるためである。ブライト・ノアが口にした「油をさすみたいなもんだな」という評価は、ある意味、的を射ていたのだ。

ミノフスキー物理学とモノポールを組み合わせたコーティング技術

マグネット・コーティングは磁性塗膜技術の一種だが、モノポール（磁気単極子。N極またはS極しか持たない）を主成分とする点が特殊である。モノポールの安定にはミノフスキー物理学が応用され、施した部分の抵抗を劇的に減少させる。MSの関節に処理を施せば、反応速度も向上することになる。



地球連邦軍系MSの駆動機構「フィールド・モーター」にしか効果がないが、機械的な干渉を打ち消し、理論上無限の加速を可能とする。

マスターグレードで展開する、数々のガンダム

マスターグレード初のキットとなった「RX-78-2 ガンダム」以降、数タイプのガンダムがラインナップに加えられている。それぞれのキットは立体化に際し、様々な解釈や新機軸の機構が盛り込まれている点が特徴。そして、それらの集大成が「RX-78-2 GUNDAM Ver.3.0」である。



RX-78-2 GUNDAM
1995年7月
発売当時における「実現可能な最高の技術」をコンセプトに開発されたMG初のキット。各部ハッチのオープン状態を再現できる。



RX-78-2 GUNDAM Ver.1.5
2000年6月
MG初のRX-78-2から5年、パーフェクトグレードで培われた技術をマスターグレードにフィードバックすることをコンセプトとしたモデル。

RX-78-2 GUNDAM Ver.Ka （カトキハジメバージョン）
2002年12月
デザイナーであるカトキハジメ氏のデザインプロデュースで立体化。1/100というスケールにこだわり、フィギュアなどのサイズを統一している。

RX-78-2 GUNDAM Ver.ONE YEAR WAR 0079
2005年3月
可動性能やアクションの再現度を追求。そのためコア・ファイターの搭載ギミックをオミットしている。後にアニメカラーバージョンも発売された。

RX-78-2 GUNDAM Ver.2.0
2008年7月
劇中のガンダムの動きを再現するため、新機軸のフレーム機構とアニメ設定をイメージしたプロポーションを再現している。

RX-78-3 G-3 GUNDAM Ver.2.0
2009年12月
マグネット・コーティングのテストが行われたG-3ガンダムも、Ver.2.0として立体化。Ver.2.0ならではの可動範囲に加え、設定通りの配色となる。

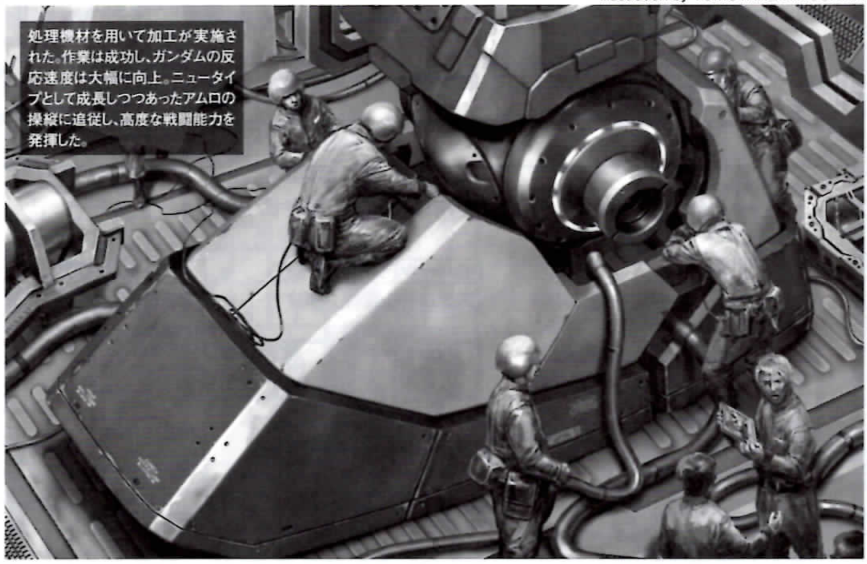
※この商品にはMG RX-78-2 ガンダム Ver.3.0が1セット入っています。 ※画像の商品は全て別売りです。

RX-78-2 GUNDAM E.F.S.F. PROTOTYPE CLOSE-COMBAT MOBILE SUIT

Illustration by TOMOTAKE KINOSHITA

理論を生み出した新鋭科学者とコーティング処理機材

マグネット・コーティングの理論を打ち立てたのは、電磁工学の新鋭と謳われたモスク・ハン博士である。自らの理論に強い自信を持ち、「理論的な自信だけはある」とまで語ったことで知られる。ガンダムへのコーティング処理作業の指揮を執ると共に、アムロにその説明も行っている。



処理機材を用いて加工が実施された。作業は成功し、ガンダムの反応速度は大幅に向上。ニュータイプとして成長しつつあったアムロの操縦に追従し、高度な戦闘能力を発揮した。



モスク・ハン博士
若くして博士号を取得した、地球連邦軍の技官。電磁工学にミノフスキー物理学を応用し、マグネット・コーティング技術を生み出した。

マグネット・コーティング機の強化・発展と可変MS／MAの実用化

一年戦争中、一部のガンダム・タイプMSに採用されるに止まった技術だが（ジオン公国軍のMS-11 アクト・ザクにも採用）、U.C.0080年代に入ると可変MA／MSの実用化に貢献。変形機構の都合上、多数の可動部分を持つ可変MS／MAにとって最適な技術だったのだ。

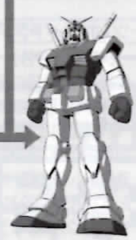


関節を含む駆動部やスライド部分、スラスターの可動部などへの適応により、スムーズな変形が可能となった。

マグネット・コーティング機の系譜



RX-78-3 G-3ガンダム
ガンダム3号機に、試験的にマグネット・コーティングを施した機体。反応炉や教育型コンピューターの更新も行われたという。



RX-78-2 ガンダム
アムロ・レイの愛機となったガンダム2号機。反応速度不足を受けて、G-3ガンダム同様の処理が施された。



RX-78NT-1 アレックス
ニュータイプ専用機として完成したガンダムタイプMS。駆動系にマグネット・コーティングを施したほか、全天周囲モニターを搭載。



可変MS（MSZ-006 Zガンダム）
可変MAの後に実用化された、MA形態に変形可能なMS。可変MAと同様、変形用の駆動部分にマグネット・コーティングを採用した。



可変MA（NRX-044 アッシマー）
MS形態に変形可能なMA。スムーズかつ短時間での変形を実現するため、関節を含む変形用駆動部分にマグネット・コーティング処理を施した。

MGで展開する、ホワイトベース隊と地球連邦軍のMS

マスターグレードシリーズには、RX-77-2 ガンキャノンやRX-75 ガンタンク、RGM-79 ジムといった地球連邦軍製MSもラインナップされている。ディテールやギミックなど、そのどれもが劇中に登場したMSの魅力を最大限に引き出している。



RX-77-2 GUNCANNON
2001年12月
自由度の高い関節機構の採用により、劇中にあった低姿勢からのキャノン発射ポーズを実現。着脱式装甲により、内部フレームも再現している。



RX-75 GUNTANK
2009年9月
連動式無限軌道やダンパー機構の採用など、タンク型MSの魅力を最大限に再現したモデル。頭部発光ギミックとしてLEDユニット（別売り）を搭載できる。



RGM-79 GM Ver.2.0
2009年2月
RX-78-2 GUNDAM Ver.2.0で培われたフレーム構造の継承に加え、フロントアーマーが3分割式と2分割の2パターンから選択できる。

マグネット・コーティングの系譜に属するキット

上で解説した通り、マグネット・コーティングは様々な形で発展したという設定を持つ。もちろんマスターグレードでもそうした設定を持つMSのキットが発売されている。目に見える形での再現は成されていないが、設定を踏まえることでキットの魅力を再発見できる。



MSZ-006 Z GUNDAM Ver.2.0
2005年12月
1996年4月に発売されたZガンダムに、最新の技術と新解釈を盛り込み再設計。WR形態への変形はもちろん、よりアクション性を追求した構造となっている。



RX-78NT-1 GUNDAM NT-1
1999年10月
チョバムアーマーの着脱ギミックを搭載。また、腕部のガトリング・ガンもスライドギミックで展開状態を再現できる。



MSZ-010 ZZ GUNDAM
1999年12月
コア・トップ、ネオ・コア・ファイター、コア・ベース、Gフォートレスへの完全変形なども可能な、高いプレイアビリティが魅力のキット。

⚠ 注　意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- ●本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ●小さな部品がありますので、小さなお子様が誤って飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ●ビニール袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- ●尖った部分や鋭い部分がありますので、取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

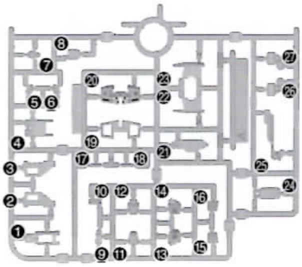
〈組み立てる時の注意〉

- ●組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- ●部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- ●部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- ●塗装には、より安全な『水性塗料』のご使用をおすすめします。
- ●ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

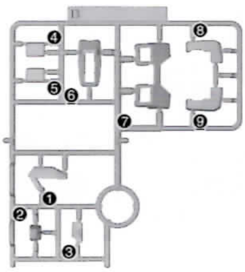
パーツリスト

（✕印は使用しないパーツです。）

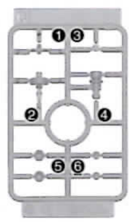
Aパーツ（イロプラ）
（スチロール樹脂：PS）



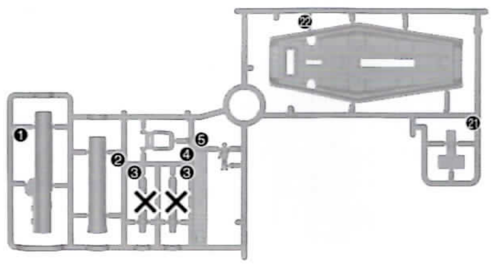
Bパーツ（ブルー）
（スチロール樹脂：PS）



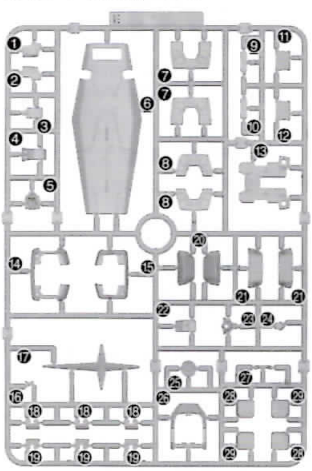
Cパーツ（クリア）
（スチロール樹脂：PS）



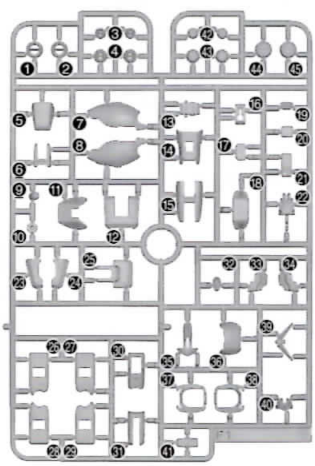
Dパーツ（ホワイト）
（スチロール樹脂：PS）



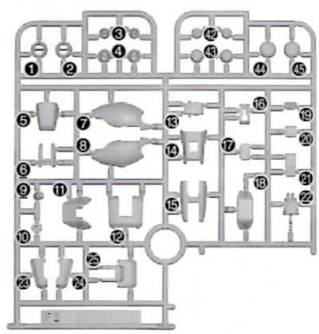
Eパーツ（イロプラ）
（スチロール樹脂：PS）



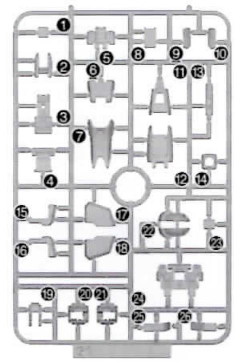
F1パーツ（ホワイト）
（スチロール樹脂：PS）



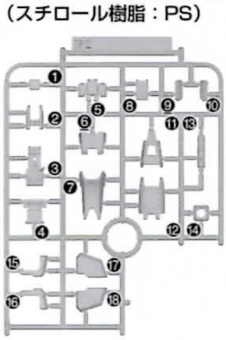
F2パーツ（ホワイト）
（スチロール樹脂：PS）



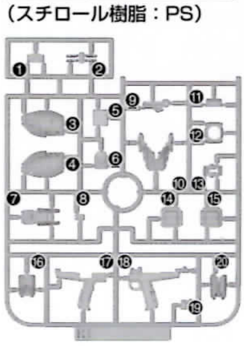
G1パーツ（ダークホワイト）
（スチロール樹脂：PS）



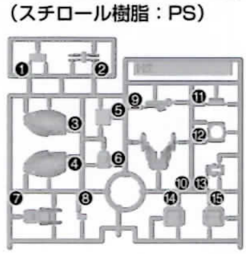
G2パーツ（ダークホワイト）
（スチロール樹脂：PS）



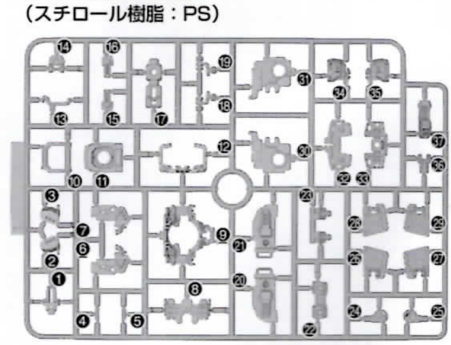
H1パーツ（ライトグレー）
（スチロール樹脂：PS）



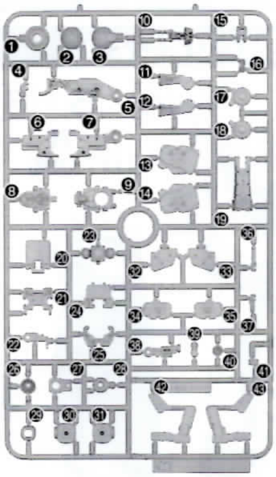
H2パーツ（ライトグレー）
（スチロール樹脂：PS）



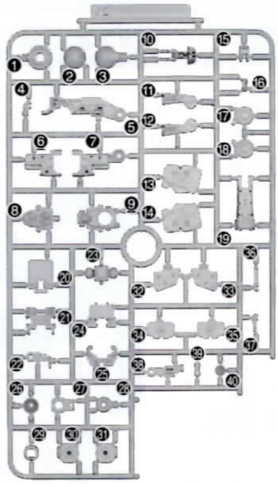
Iパーツ（グレー）
（スチロール樹脂：PS）



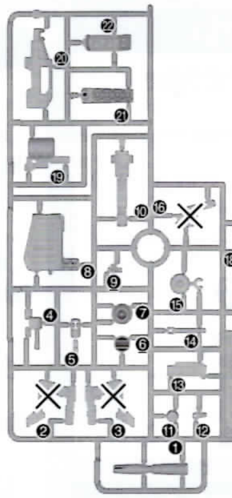
J1パーツ(グレー)
(スチロール樹脂：PS)



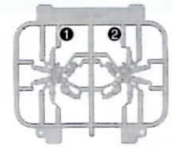
J2パーツ(グレー)
(スチロール樹脂：PS)



Kパーツ(グレー)
(スチロール樹脂：PS)



MP1パーツ(グレー)
(ABS樹脂：ABS)
(ポリプロピレン：PP)

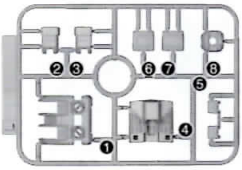


MP1（エモーションマニピュレーター SP）は全関節可動のため、非常に精密な造りになっています。
※各指関節は図解の矢印の方向以外には絶対に動かさないでください。
※各関節を動かすときは、関節の根元部分を押さえながら、ゆっくり動かしてください。

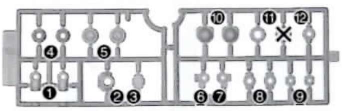
SB1パーツ(クリアピンク)
(スチロール樹脂：PS)



Lパーツ(グレー)
(スチロール樹脂：PS)



PC-202A(グレー)
(ポリエチレン：PE)



※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

リアリスティックデカール……1枚

《お買い上げのお客様へ》万が一部品に不良品がありましたら、その部品を取りはずし、商品名、部品の記号、部品番号、不具合の症状を書いて、下記までお送りください。良品と交換させていただきます。また、部品をこわしたり、なくした場合は部品通販をご利用ください。代金は料金表を参照していただき、商品番号／商品名／部品の記号／部品番号／数量を明記していただき、部品注文カード(部品注文カードのコピー、手書き可)、部品代＋送料の料金(100円単位を定額小為替、10円単位を切手)と共に封書にてお送りください(封書の裏に必ずお客様のお名前／ご住所／年齢をお書きください)。送料は実際に部品をご用意した際の重量によって変わります。また、別途手数料が必要な送付方法をご希望の場合、別料金となります。料金の不足分はご請求、超過分は残額をお返し致します。ただし、それ以外にかかった手数料等はお客様のご負担となります。在庫がない場合は誠に申し訳ございませんがご注文をお返し致します。ご記入いただきました個人情報につきましては、商品・部品の発送及び情報の提供以外には使用致しません。部品注文の方法は、HPでもご紹介しております。詳しくはhttp://bandai-hobby.net/SC/2007/10/post_55.html ▶「部品注文のしかた」をご参照ください。通信費等はお客様のご負担となります。**※お送りした部品に不良がある場合を除き、お客様都合での注文内容の変更、キャンセル、交換、返品は受付けておりませんので予めご了承ください。**

■申し込み先
〒420-8681　静岡県静岡市葵区長沼500-12
(株)バンダイ静岡相談センター　TEL 054-208-7520

・電話受付時間 月～金曜日
(祝日を除く) 10:00～16:00
・電話番号はよく確かめてお間違いのないようにご注意ください。

《料金表》●部品代、送料は切り取った1個の料金です。

部品番号	取扱説明書	MP1❶・MP1❷	リアリスティックデカール	その他の部品
部品代	150円	各300円	600円	各60円
郵送料	200円	120円	80円	120円

FOR USE IN JAPAN ONLY.

部品注文カード　0183655
1/100SCALE MGシリーズ
RX-78-2 ガンダム Ver.3.0

必要な部品の記号・番号・数量をかく

●注文された理由(○で囲む) (こわした・なくした)

・日中ご連絡可能な電話番号　・年齢
(　　-　　-　　) (　　才)
R2210344　'13.08

2013.08/SA・ON　※コピー使用可

MG RX-78-2 ガンダム Ver.3.0のカメラアイを発光させたい方は、こちらをお読みください。

LEDユニット(イエロー)のご注文は右記の部品注文カードをご利用ください。申し込み方法等の詳細は、上記《お買い上げのお客様へ》をご参照ください。また、在庫がない場合には誠に申し訳ありませんがご注文をお返し致します。ただし、その際の発送にかかった費用はお客様負担となりますので、予めご了承ください。LEDユニットの通販は予告無く終了する場合があります。
上限3セットまでお受けできます。(カメラアイを発光させる場合は、LEDユニット(イエロー)が1セット必要です。)
WEBでもご注文を受付けております。(通信費等はお客様のご負担となります。)
▶http://bandai-hobby.net/hobbyblog/news/partsorder/**※お送りした部品に不良がある場合を除き、お客様都合での注文内容の変更、キャンセル、交換、返品は受付けておりませんので予めご了承ください。**

《料金表》

個数	1セット	2セット	3セット
部品代	700円	1400円	2100円
郵送料	120円	120円	140円

※コピー使用可

FOR USE IN JAPAN ONLY.

部品注文カード　0183655
1/100SCALE MGシリーズ
RX-78-2 ガンダム Ver.3.0
LEDユニット(イエロー)

必要個数に○をつけてください

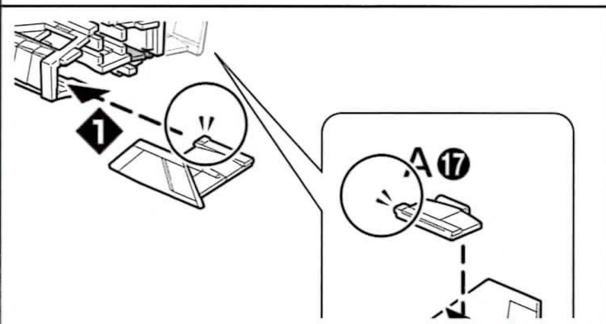
1セット　2セット　3セット

・日中ご連絡可能な電話番号　・年齢
(　　-　　-　　) (　　才)
R2210344　'13.08

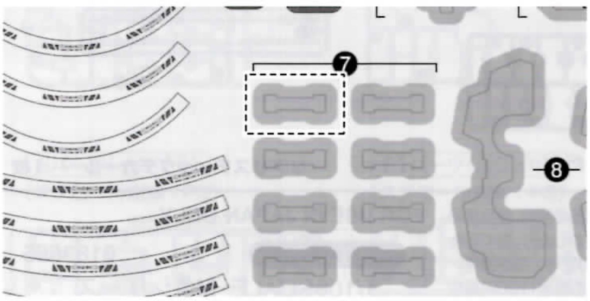
組み立て前の基本説明

部品の向きに注意してください

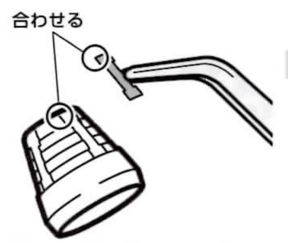
※組み立て図中に\\のついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。



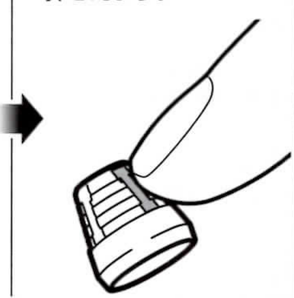
リアリスティックデカールの貼りかた



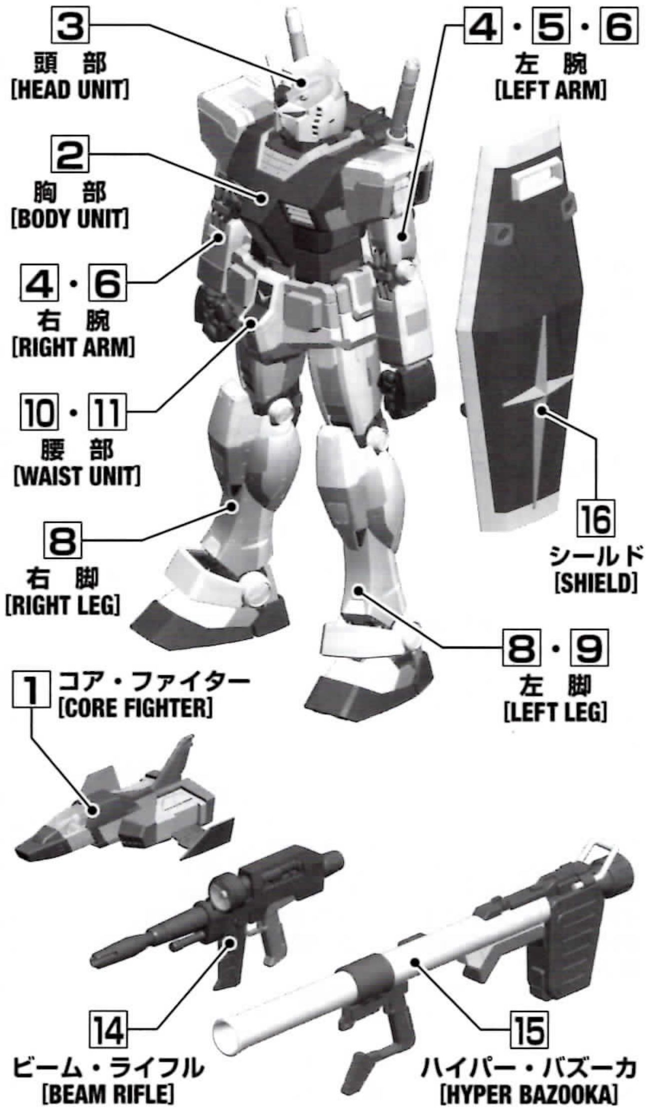
❶ピンセット等でつまみ、形を合わせてリアリスティックデカールを貼ります。



❷浮いている部分は指等で押さえます。



説明書をよく読んで完成させましょう

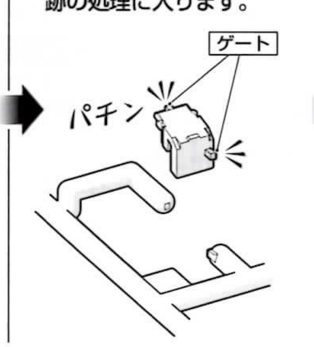


パーツの切り取りかた

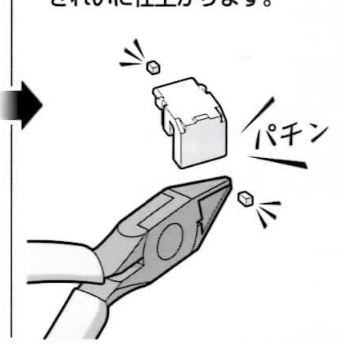
❶まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。

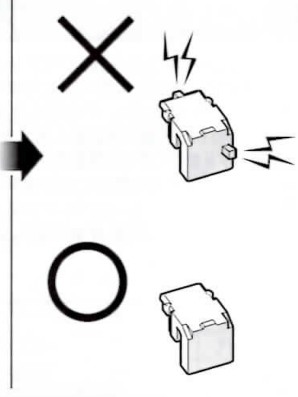


❷パーツを切り離して持ちやすくなったところでゲート跡の処理に入ります。



❸ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。



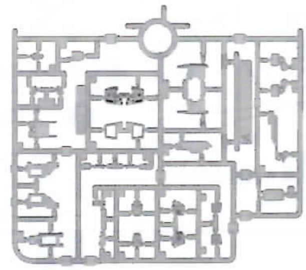


1 CORE FIGHTER

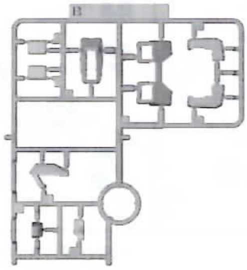


・組立 1 で使用するパーツ

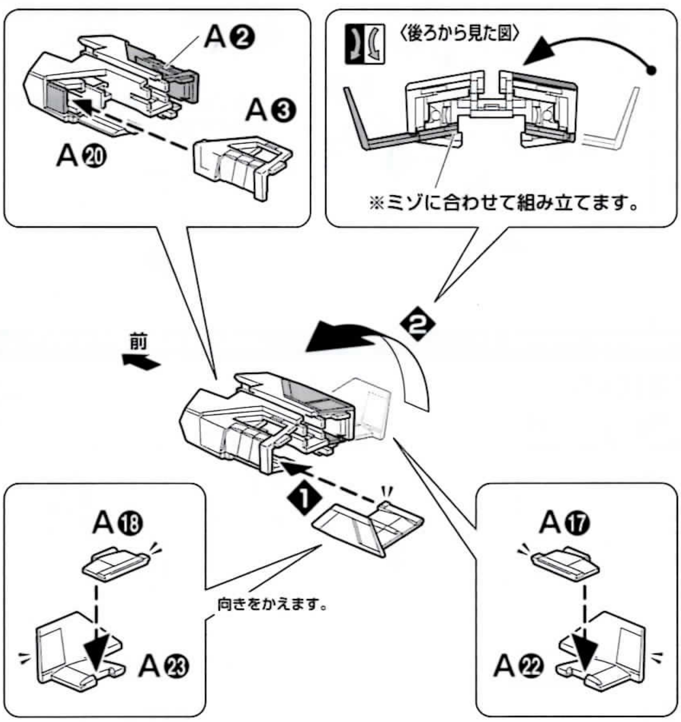
A(イロプラ)



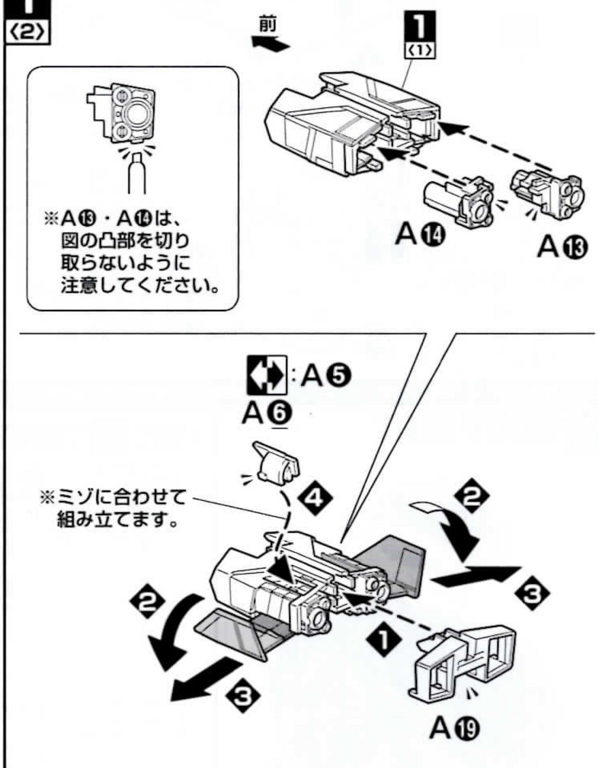
B(ブルー)



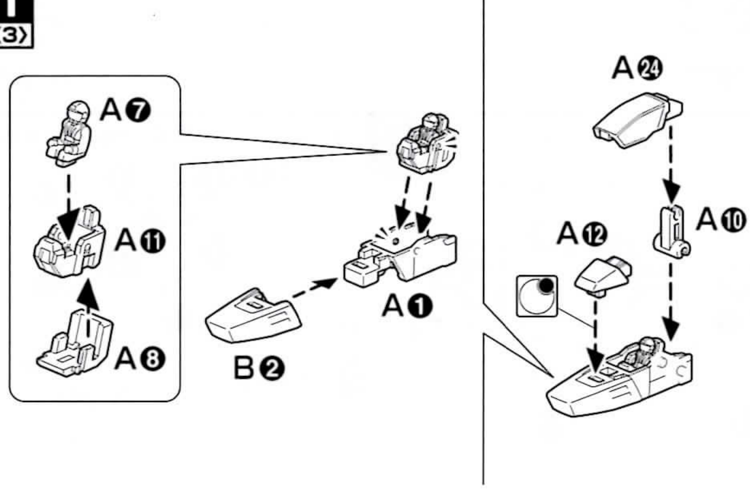
1 〈1〉〔コア・ファイターの組立〕 CORE FIGHTER



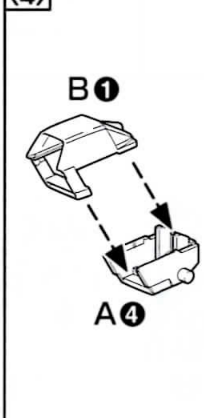
1 〈2〉



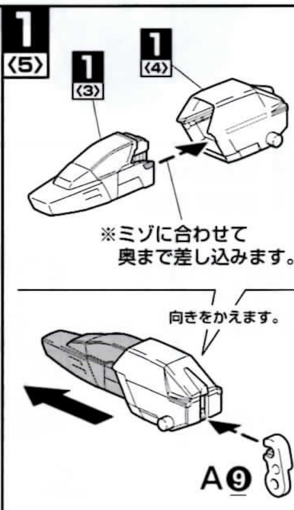
1 〈3〉



1 〈4〉



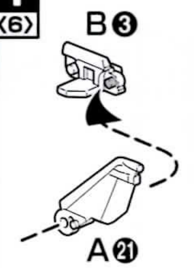
1 〈5〉



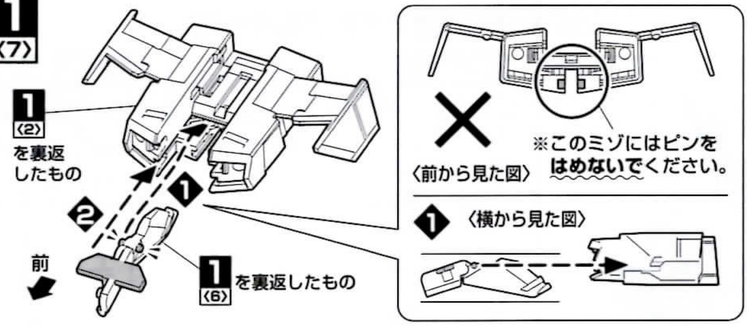
※組立図中の記号説明

両側を同じように動かす	反対側に取り付けるパーツ	先に組み立てる

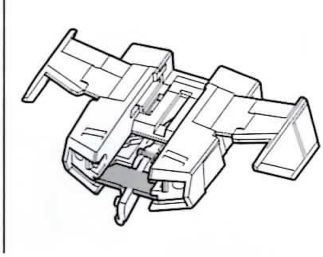
1 〈6〉



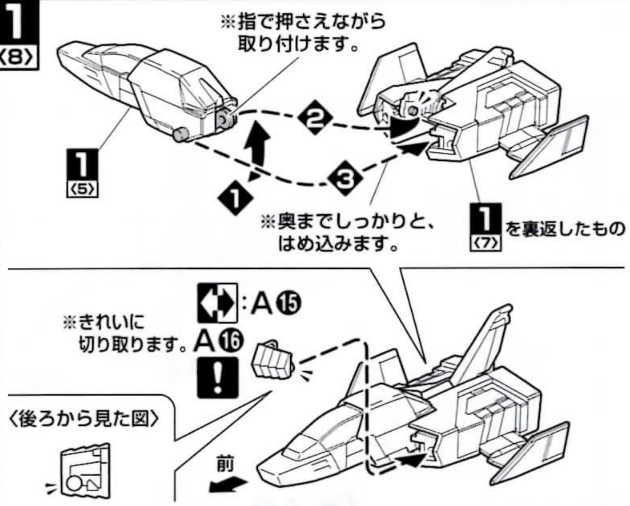
1 〈7〉



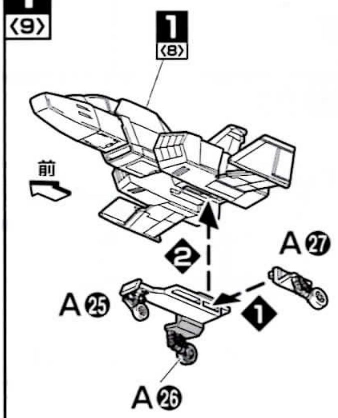
※ 部分の位置に注意して組み立ててください。



1 〈8〉



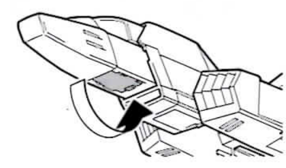
1 〈9〉



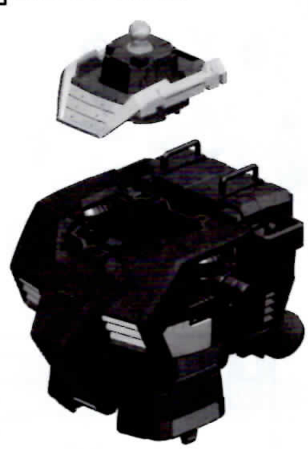


※画像の完成品は塗装してあります。

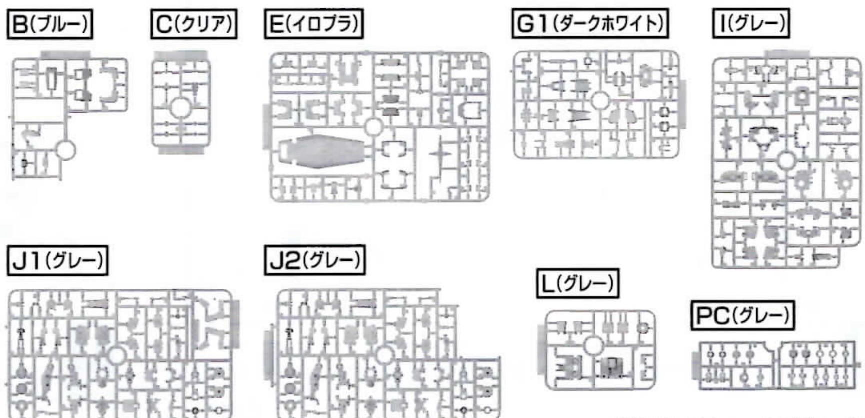
※コクピットは、画像の位置まで回転させてください。



2 BODY UNIT

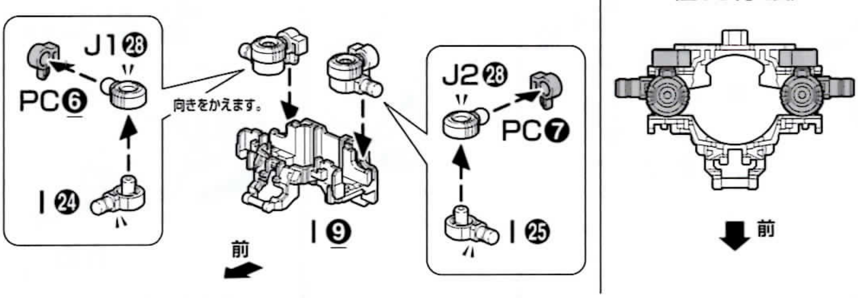


・組立2で使用するパーツ



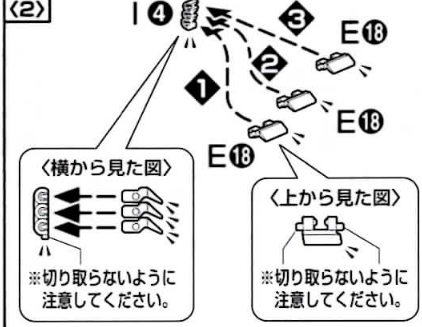
・リアリスティックデカール

2 〔胸部の組立〕
〈1〉 BODY UNIT



2 〈2〉

※各部品は、向きに注意して組み立てます。

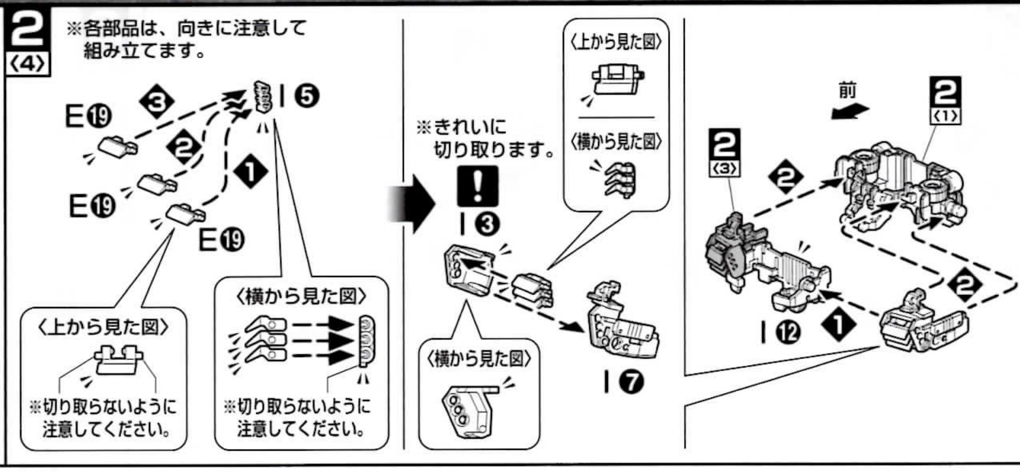


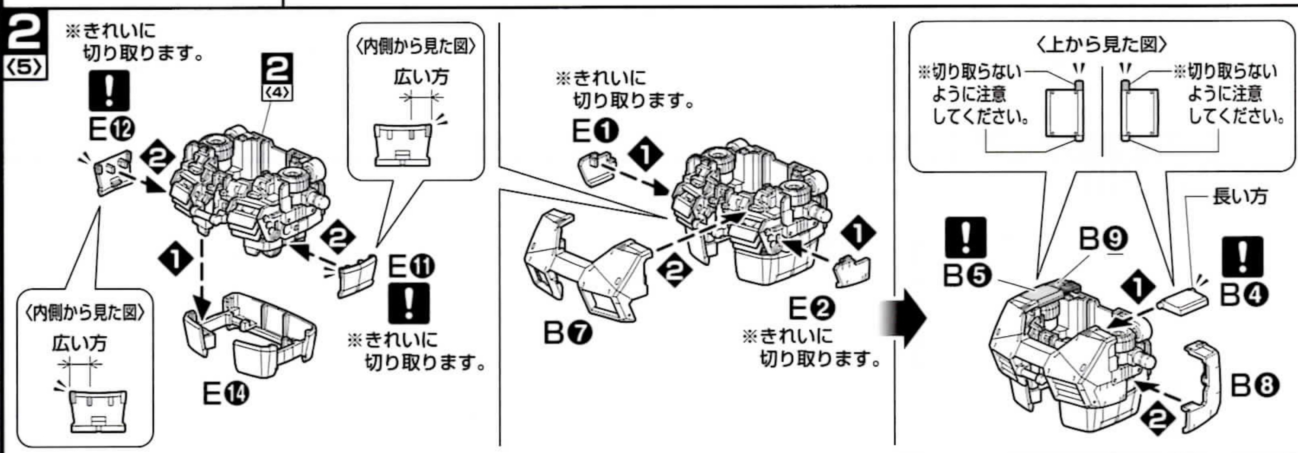
※組立図中の記号説明

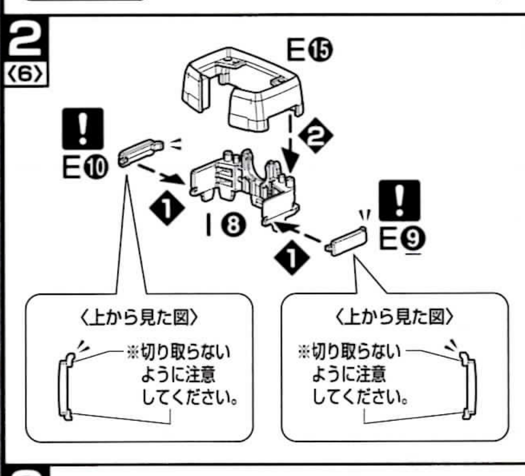
反対側に取り付けるパーツ

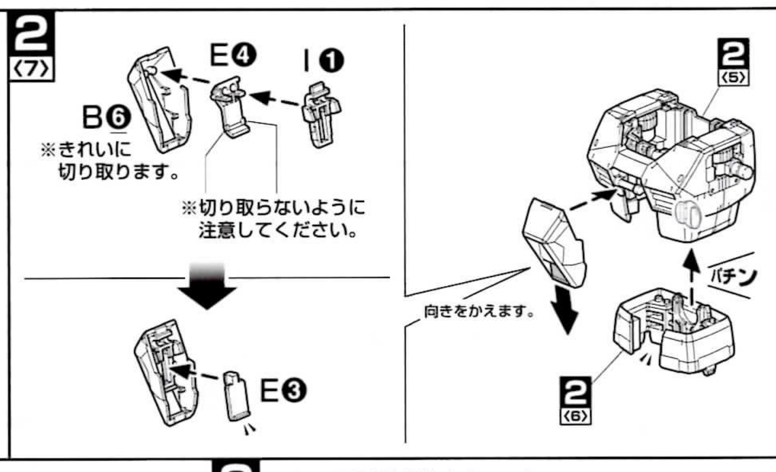
向きに注意して組み立てる

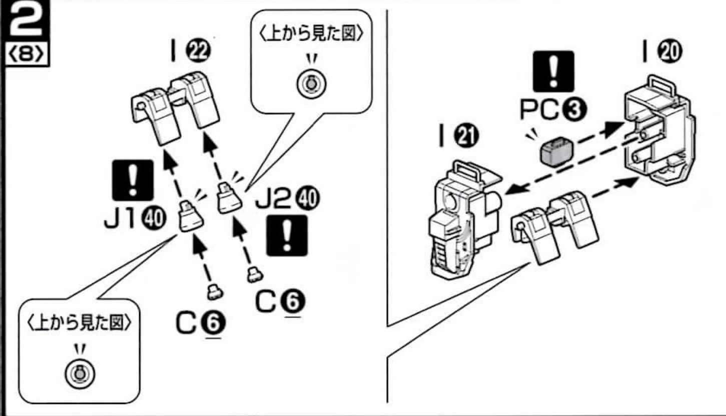


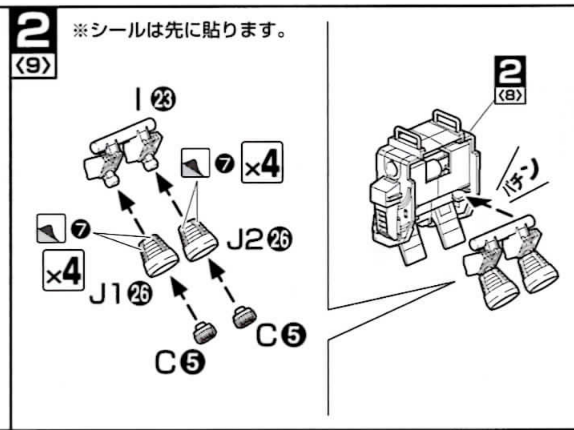






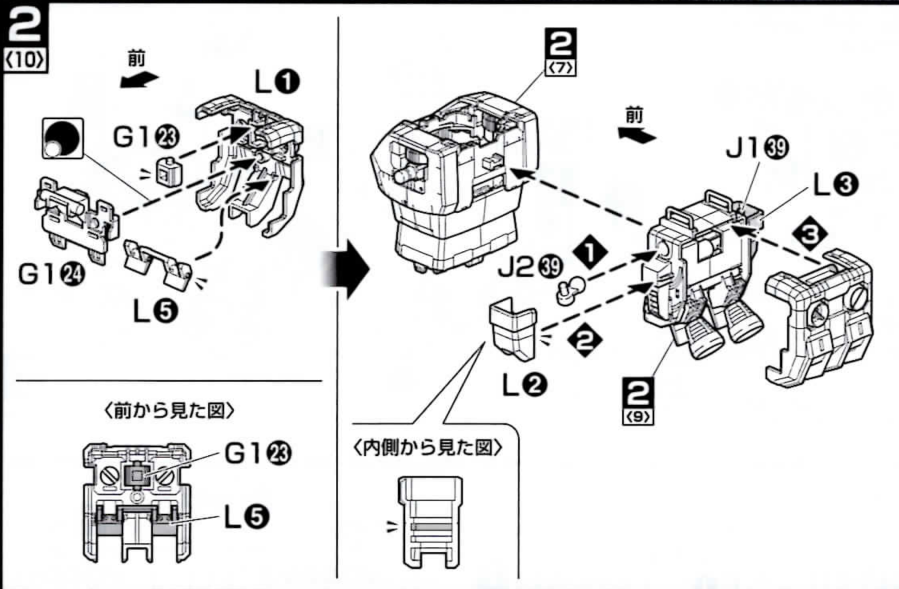




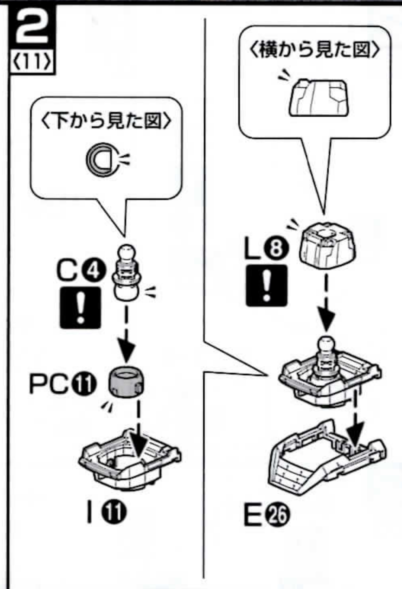


※組立図中の記号説明	! 向きに注意して組み立てる	❶ シールの番号	×4 部品を数個の個数作る

2 〈10〉



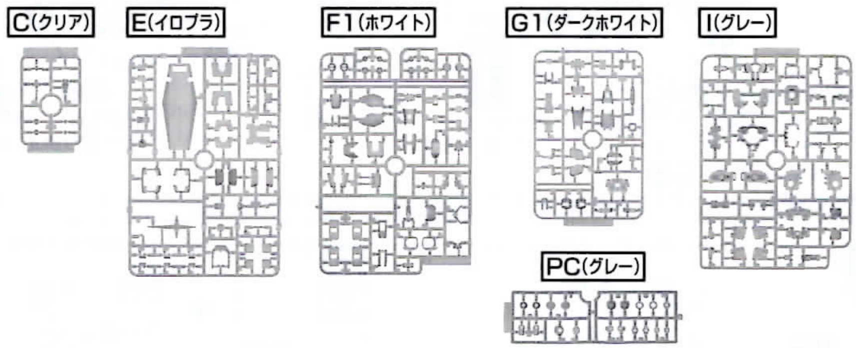
2 〈11〉



3 HEAD UNIT

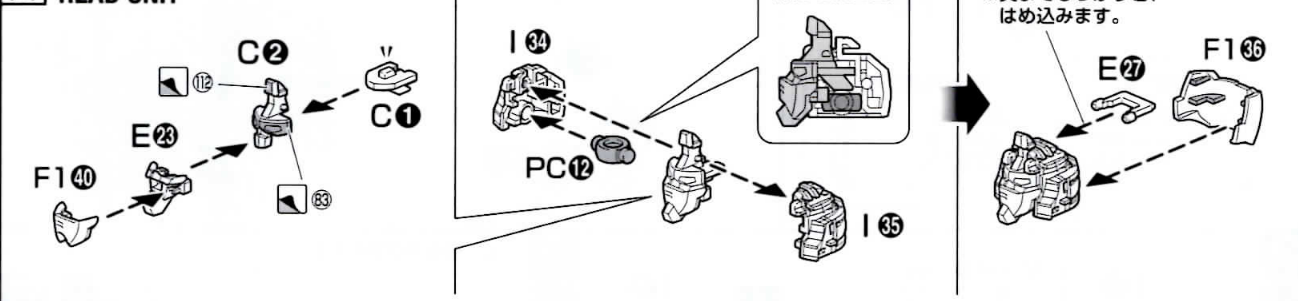


・組立3で使用するパーツ

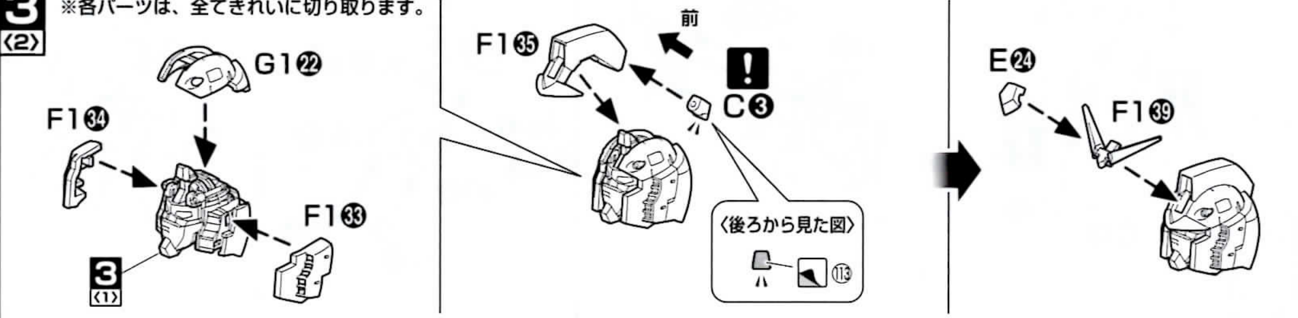


・リアリスティックデカール

3 〔頭部の組立〕
〈1〉 **HEAD UNIT**



3 〈2〉 ※各パーツは、全てきれいに切り取ります。

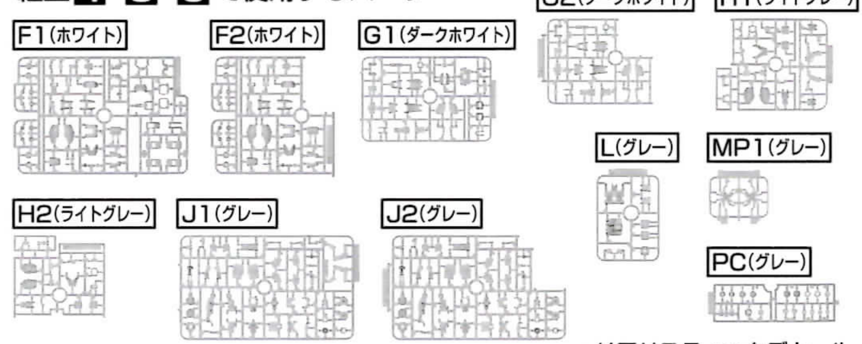


※組立図中の記号説明　後から組み立てる　向きに注意して組み立てる　① シールの番号

456 ARM UNIT

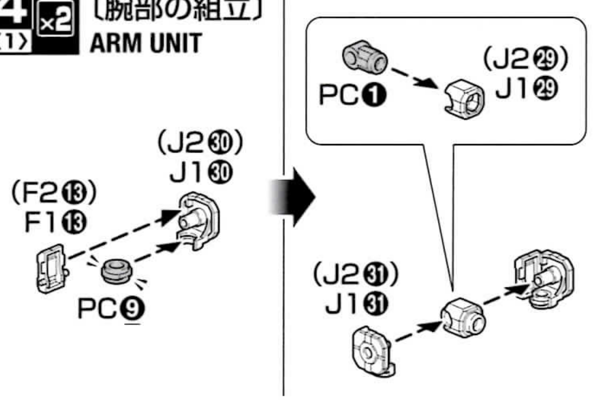


・組立4・5・6で使用するパーツ

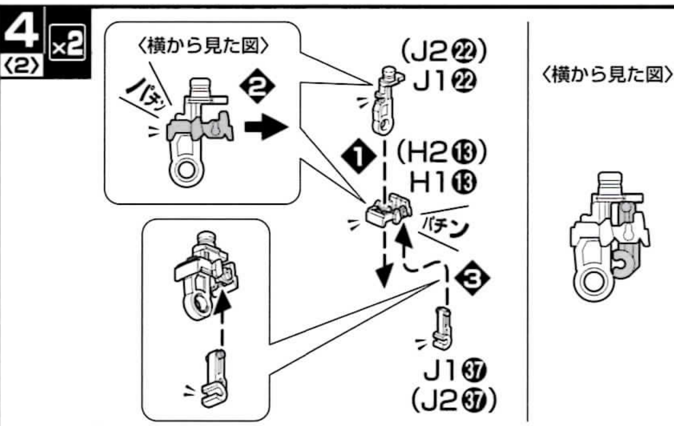


・リアリスティックデカール

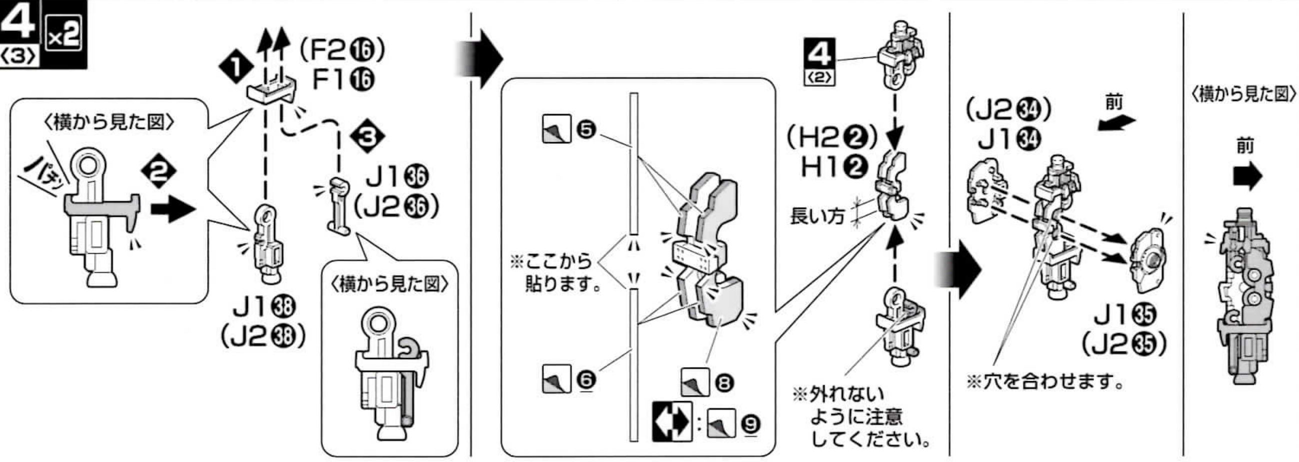
4 ⟨1⟩ ×2 〔腕部の組立〕 ARM UNIT



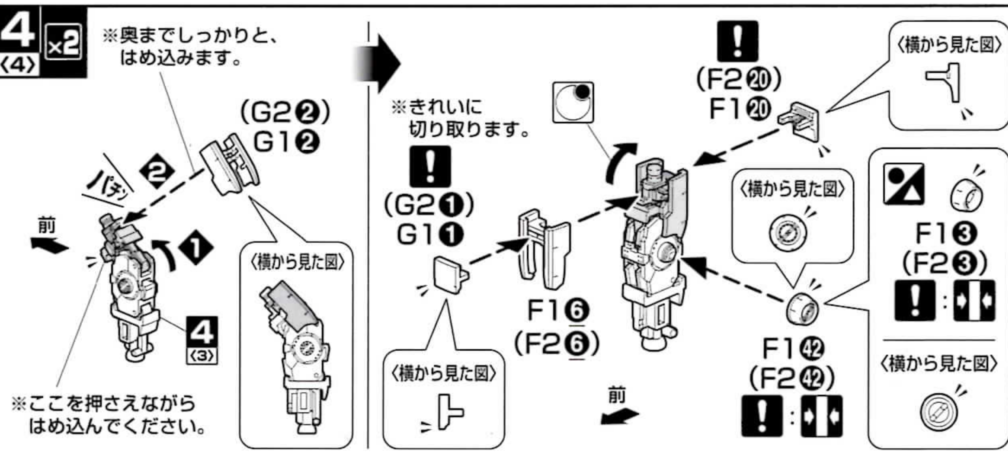
4 ⟨2⟩ ×2



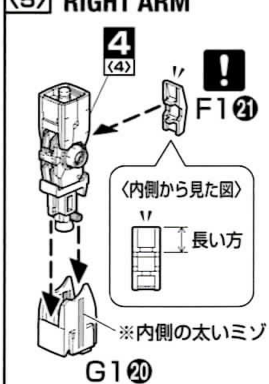
4 ⟨3⟩ ×2



4 ⟨4⟩ ×2



4 ⟨5⟩ 〔右腕の組立〕 RIGHT ARM



※組立図中の記号説明							
	×2 部品を数個の個数作る	❶ シールの番号	反対側に取り付けるパーツ	向きに注意して組み立てる	先に組み立てる	両側に同じパーツを取りつける	どちらかを選んで取りつける

GUNDAM RX-78-2 Ver.3.0

E.F.S.F. PROTOTYPE CLOSE-COMBAT MOBILE SUIT

技術の蓄積と革新が成し遂げた新たなる「GUNDAM」

これまでのマスターグレードシリーズで培われた技術が惜しみなく盛り込まれた「RX-78-2 GUNDAM Ver.3.0」。フレームと連動した装甲の可動システムや「エモーション・マニピュレーター SP」など、各所に最新かつ革新的な機能が採用されている。また、計算されたパネル分割とそれぞれに成形色を変えることで、機体の密度感を増すことに成功し、より「リアル」な再現を成し遂げているのである。



HEAD



頭部パーツも細部に亘って再現されているだけではなく、他の部位と同様にパネル構造によって色分けされている。また、頭部発光ギミックとして、別売りのLEDユニット(イエロー)を搭載できる。

EMOTION MANIPULATOR SP

手の平のパーツは一体成型された「エモーション・マニピュレーターSP」を採用。各関節が可動し、表情のあるポージングが可能。手の平、武装類は相互にグリップを固定できるようジョイント機構を有している。



WEAPONS

ビーム・ライフルをはじめ、ハイパー・バズーカ、ビーム・サーベル、シールドが付属。ビーム・ライフルはシールドの裏に取り付け可能。また、シールドはランドセルに装着できる。



ARMOR

全身のフレーム構造により、機体の動きに合わせて各部の装甲がスライドする。ビーム・サーベルを引き抜く、立てヒザといった人体のようなポージングでディスプレイすることができる。



REALISTIC DECAL

リアリスティックデカールの使用によって、全体の密度感を上げるだけではなく、金属パーツの質感も再現。アムロ・レイのパーソナルマークも付属する。

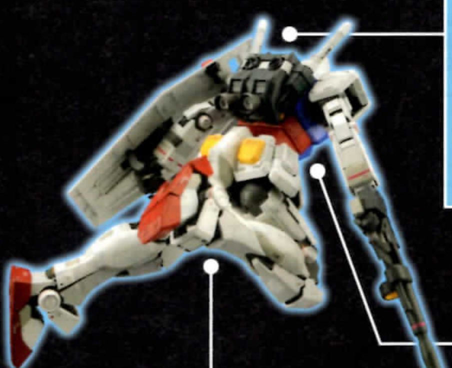




RANSEL

ランドセルは複雑な面構成をパネル分割によって再現。また、ランドセルのカバーは開閉可能となっている。スラスター上部のフィンも可動する。





MAGNET COATING

ヒジ、ヒザ、足首にはマグネット・コーティングを施したことを示すパーツを取り付けることができ、通常のパーツを取り付けた際はスリットの隙間から内部メカのディテールが露出する。

[Magnet Coating]



[Normal]



BODY

コア・ファイターはコア・ブロックへの変形が可能。ボディ内部に収納でき、コア・ブロック専用ユニットも付属している。また、胴体にも関節構造を有し、様々な動きに対応することができる。



LEG

足部は分割方式となっており、広い可動範囲によって様々なポージングに対応する。足底部ディテールもスラスターを含め、精密に再現されている。



※画像の完成品は塗装してあります。

COLOR GUIDE

※塗装を楽しみたい方は、下の基本色をご覧ください。
※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
※ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。
※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

RX-78-2 GUNDAM

【本体等 ホワイト部】(BODY white part)
ホワイト(white)100%

【本体等 ライトグレー部】(BODY light gray part)
ホワイト(white)95% +グレー(gray)5%
+ブルー(blue)少量(a little)

【本体等 ライトブラウン部】(BODY light brown part)
ホワイト(white)90% +グレー(gray)5%
+薄茶色(flesh)5%
+ダークアース(dark earth)少量(a little)

【胸等 ブルー部】(CHEST blue part)
インディブルー(bright blue)60%
+ホワイト(white)40% +ブルー(blue)少量(a little)

【コクピットハッチ等 ライトブルー部】
(COCKPIT light blue part)
すみれ色(violet)70%
+ホワイト(white)30%
+インディブルー(bright blue)少量(a little)

【脇腹 レッド①部】(SIDE red part①)
モンザレッド(red madder)75%
+ホワイト(white)20%
+グレー(gray)5%

【シールド、足、コア・ファイター等 レッド②部】
(SHIELD/FOOT/CORE FIGHTER red part②)
モンザレッド(red madder)90%
+ココアブラウン(cocoa brown)10%

【襟、インテーク等 イエロー部】
(COLLAR/INTAKE yellow part)
イエロー(yellow)50% +ホワイト(white)35%
+オレンジ(orange)15%

【内部メカ等 グレー①部】(FRAME gray part①)
グレー(gray)90% +ブラック(black)10%

【武器等 グレー②部】(WEAPON gray part②)
グレー(gray)80%
+ブラック(black)20%

【ランドセル等 ダークグレー部】
(RANSEL dark gray part)
ネービーブルー(navy blue)85%
+グレー(gray)15% +レッド(red)少量(a little)

AMURO RAY



【ライン等 レッド部】(LINE red part)
モンザレッド(red madder)100%

【手、ブーツ等 ブルーグレー部】
(HAND/BOOTS blue gray part)
ブルーグレー(blue gray)50%
+ホワイト(white)50%

【胸上部等 ブラック部】(CHEST black part)
ブラック(black)100%
+ホワイト(white)少量(a little)

【ヘルメットバイザー ライトグリーン部】
(HELMET VISOR light green)
ペールグリーン(pale green)100%

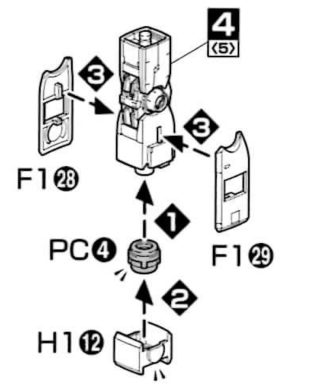
マグネット・コーティングによるガンダムの性能向上



ガンダムのマグネット・コーティング作業は、コンペイトウ(旧ソロモン)において行われた。作業は電磁光学の新鋭モスク・ハン博士と彼の率いるチームが担当した。マグネット・コーティングは、ミノフスキー物理学を応用したもので、処理を施した箇所の機械的な干渉を打ち消し、理論上は無限の加速を可能とする。これが施されたことで、ニュータイプとして目覚ましい進化を遂げつつあったアムロに追従できるだけの反応速度を獲得したのである。

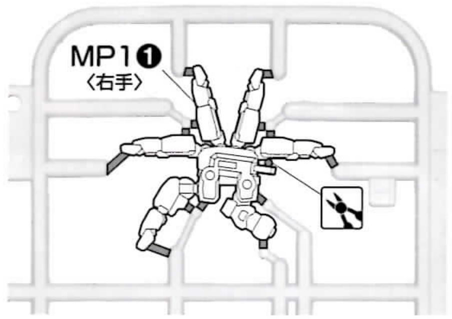
※画像はイメージです。

4 〈6〉



4 〈7〉

※■部分を切り取ります。
※左手(MP1❷)も同じように切り取ります。



※・部分の各関節が可動します。
※各指関節(■部分)を動かすときは
必ず矢印の方向に動かしてください。
※逆方向に動かすと破損する恐れがあります。



※破損の恐れがありますので、×印の方向(逆関節方向)には絶対に曲げないでください。

〔指部・可動箇所〕

4 〈8〉

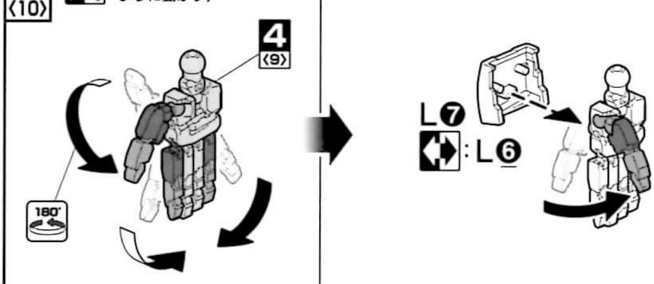
4〈7〉の向きをかえたもの

※左手も同じように動かします。
※各指関節を動かす時は関節の根元部分を押さえながらゆっくり動かしてください。



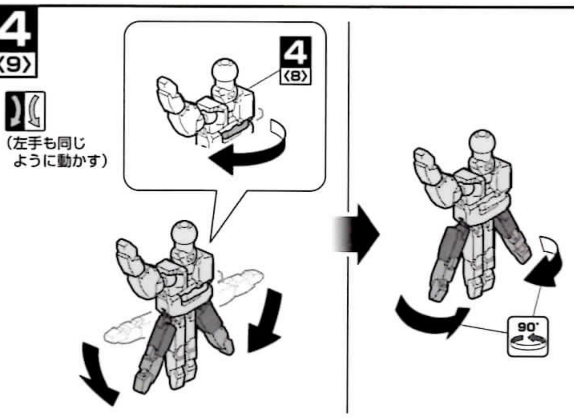
4 〈10〉

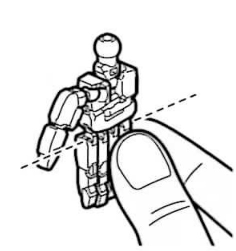
(左手も同じように動かす)



4 〈9〉

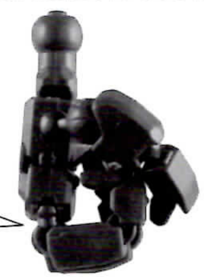
(左手も同じように動かす)



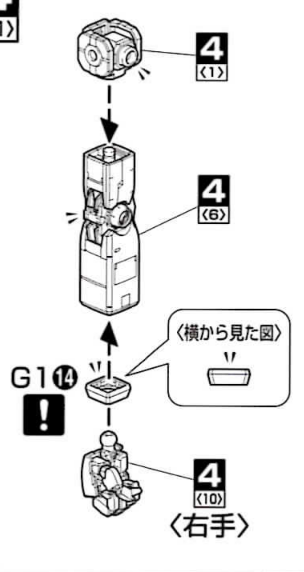


※指付根部の関節は強度上、固めになっていますので、指の付け根を押さえながら矢印の箇所を一本ずつ動かすようにしてください。

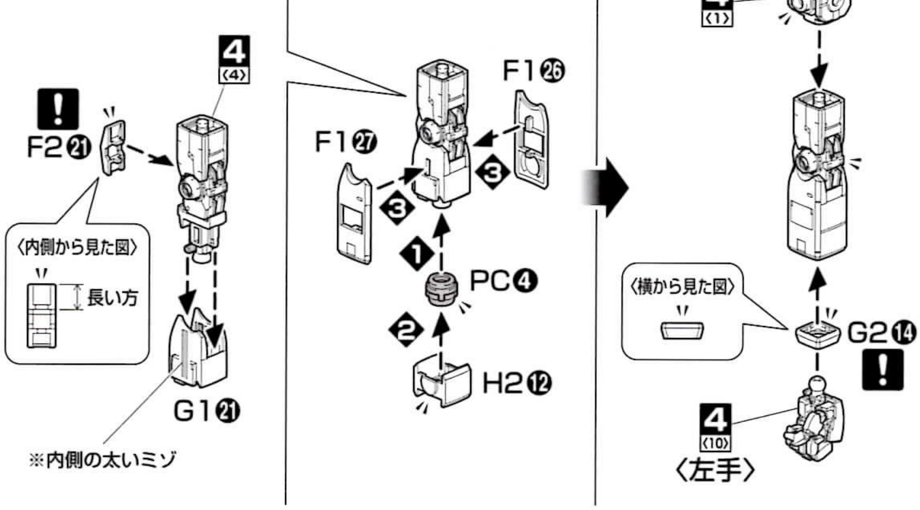
〈完成画像〉
※説明のため、手甲パーツ(L❻・L❼)は外してあります。



4 〈11〉



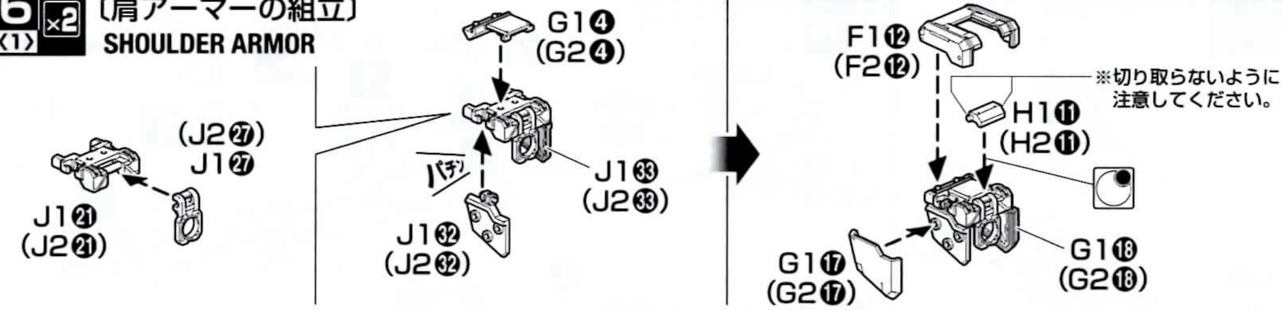
5 〔左腕の組立〕
LEFT ARM



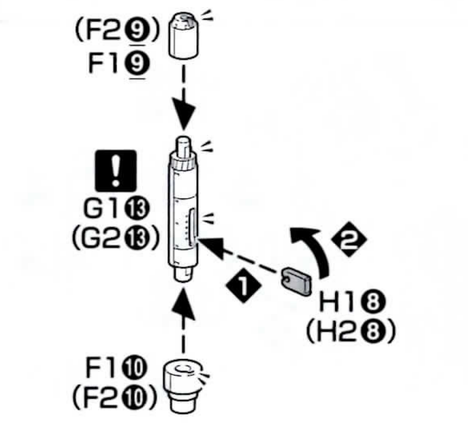
※組立図中の記号説明

切り取る部分	数値に合わせて回転させる	両側を同じように動かす	反対側に取り付けるパーツ	向きに注意して組み立てる

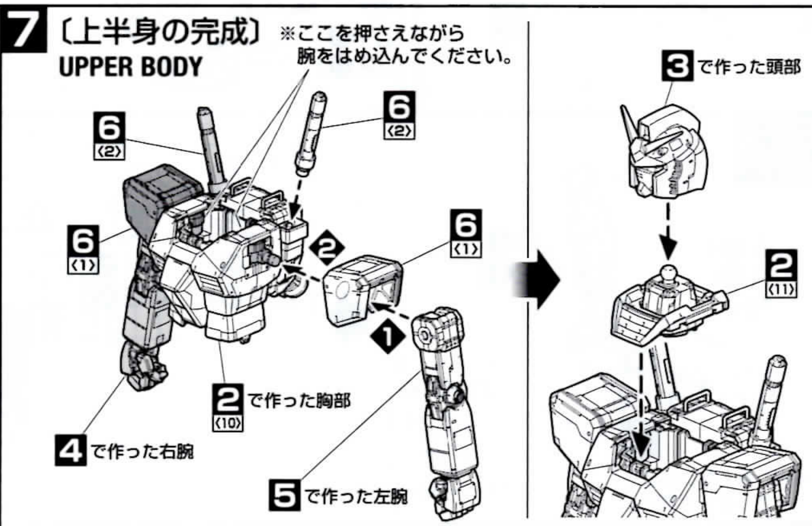
6 〈1〉 ×2 〔肩アーマーの組立〕 SHOULDER ARMOR



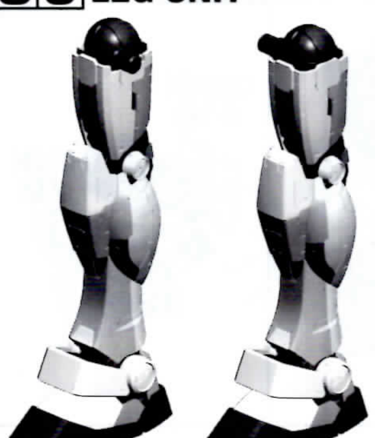
6 〈2〉 ×2 〔ビーム・サーベルの組立〕 BEAM SABER



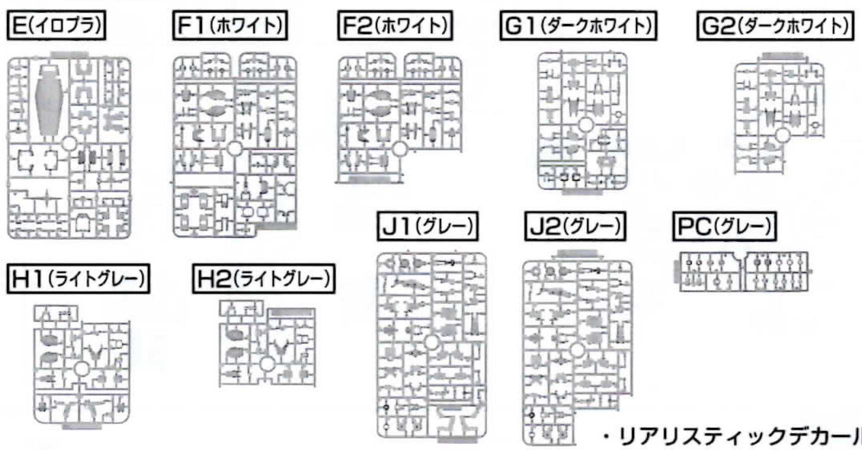
7 〔上半身の完成〕 UPPER BODY



8 9 LEG UNIT

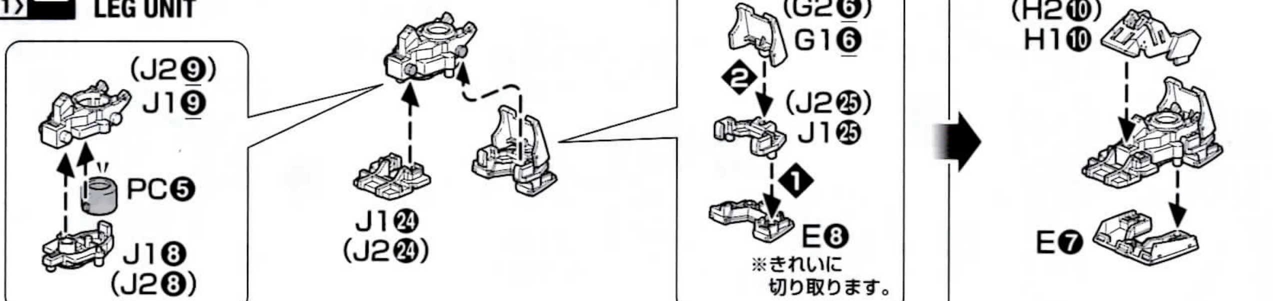


・組立 8・9 で使用するパーツ

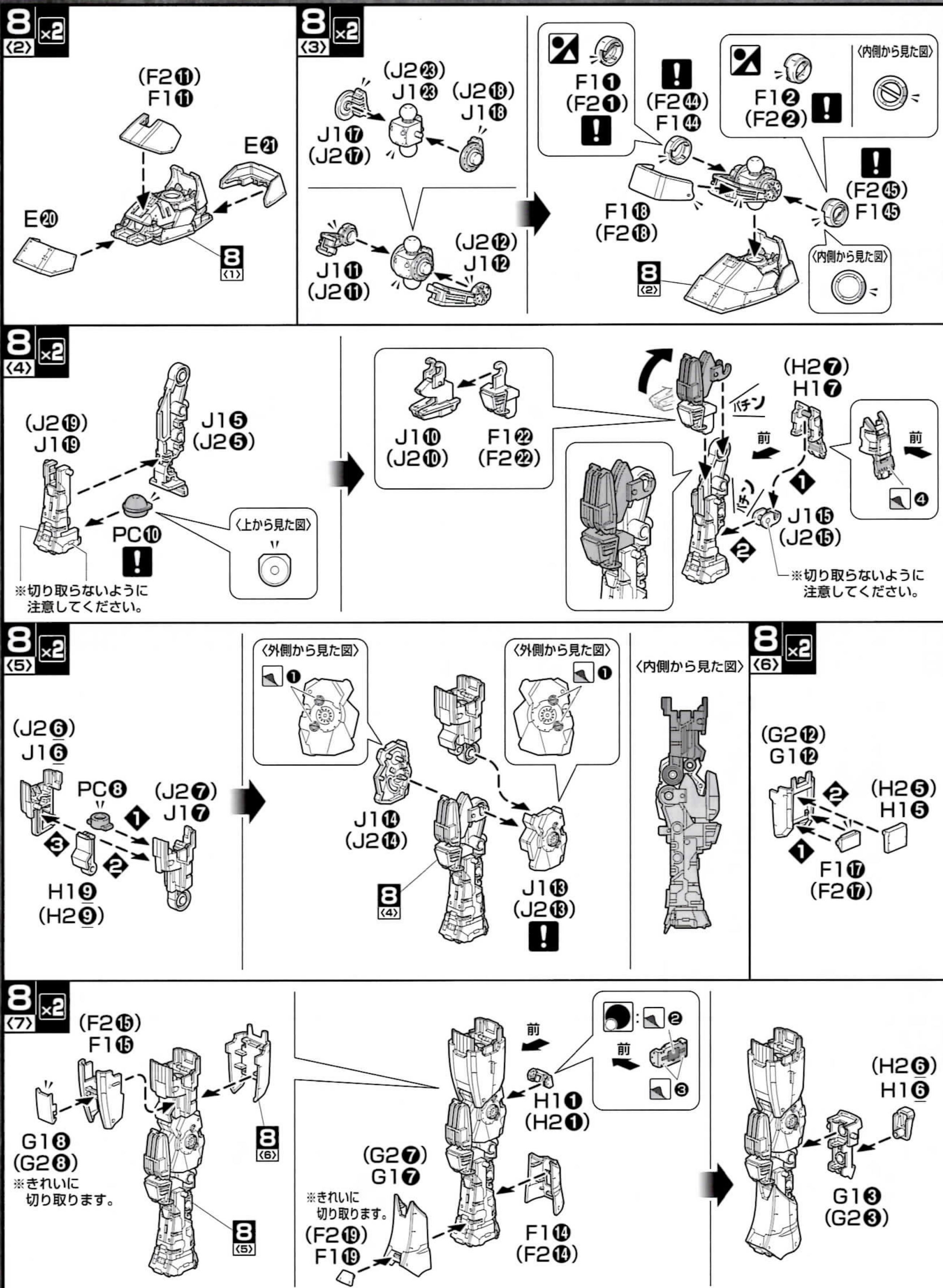


・リアリスティックデカール

8 〈1〉 ×2 〔脚部の組立〕 LEG UNIT



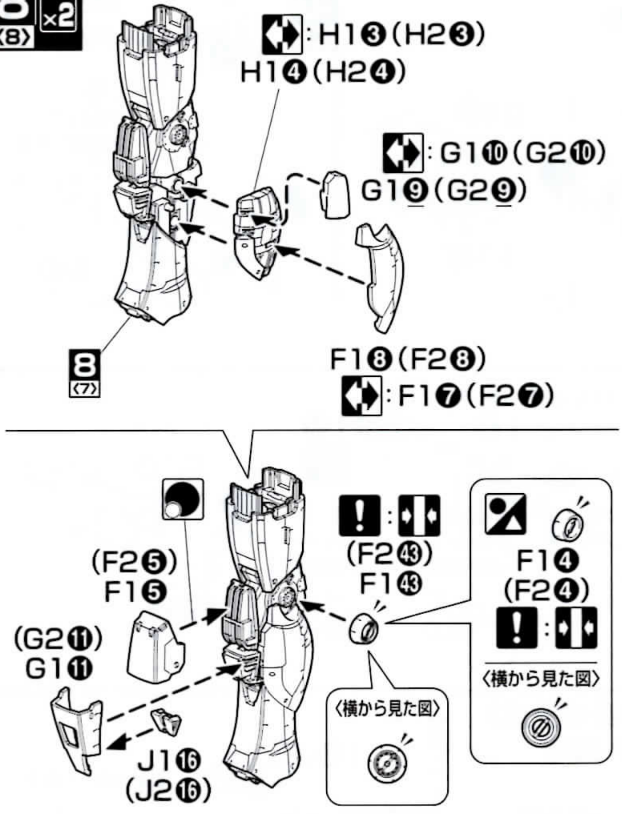
※組立図中の記号説明　×2 部品を数値の個数作る　先に組み立てる　! 向きに注意して組み立てる



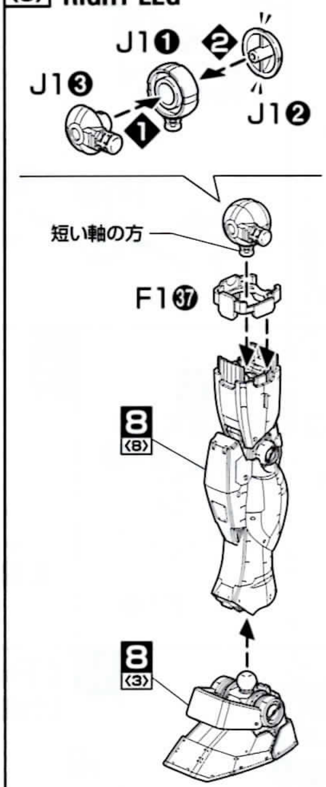
※組立図中の記号説明

×2	部品を数値の個数作る
!	向きに注意して組み立てる
(icon)	どちらかを選んで取りつける
❶	シールの番号
(icon)	後から組み立てる

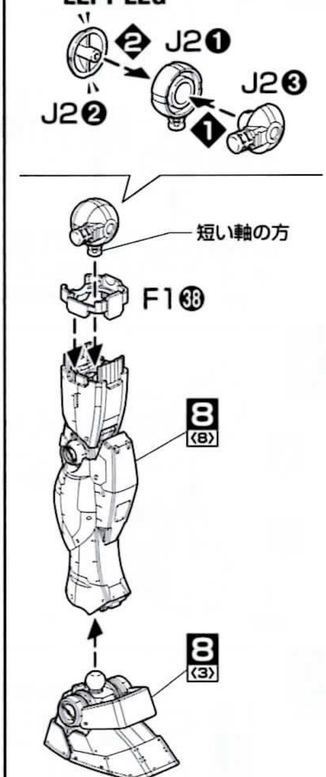
8 〈8〉 ×2



8 〔右脚の組立〕 〈9〉 RIGHT LEG



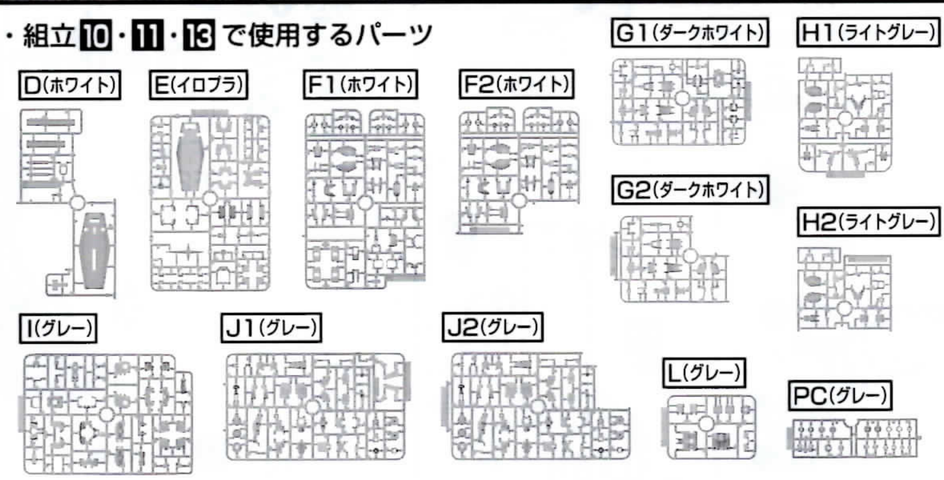
9 〔左脚の組立〕 LEFT LEG



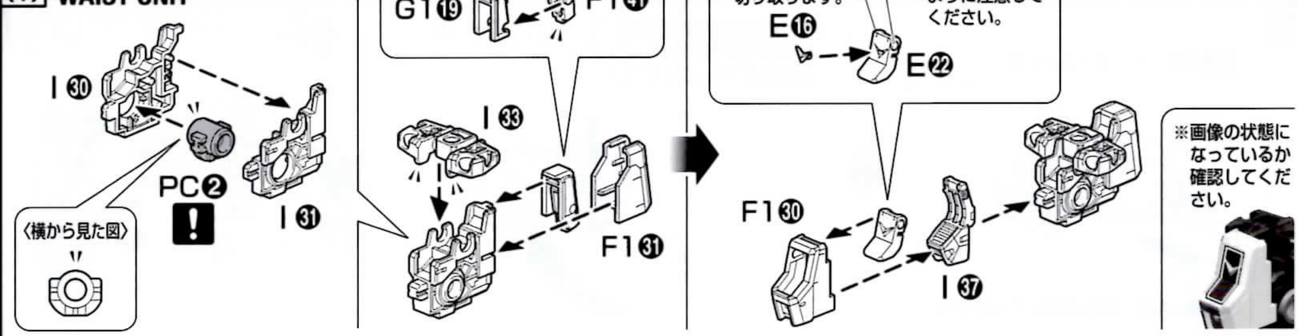
10 11 WAIST UNIT



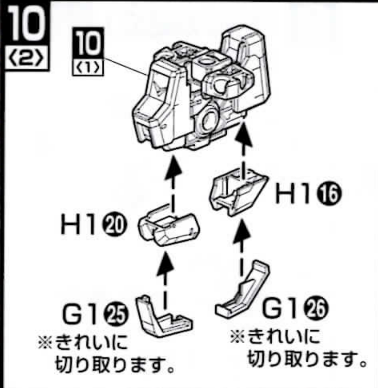
・組立10・11・13で使用するパーツ



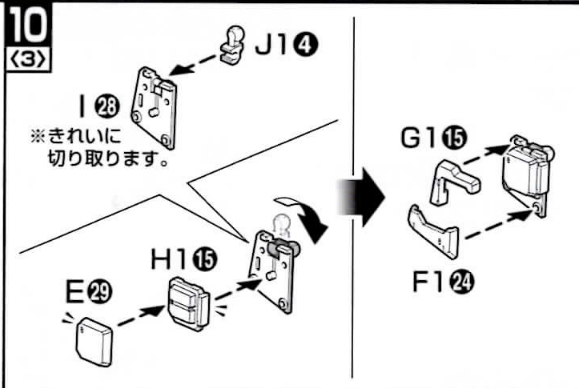
10 〔腰部の組立〕 〈1〉 WAIST UNIT



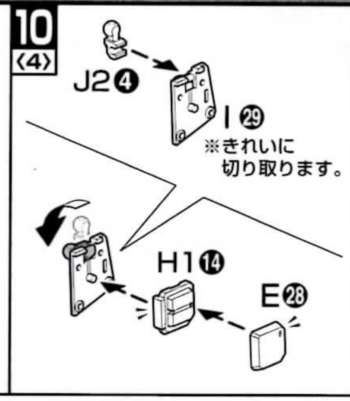
10〈2〉



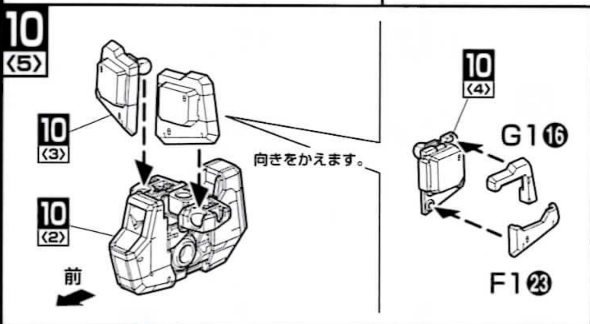
10〈3〉



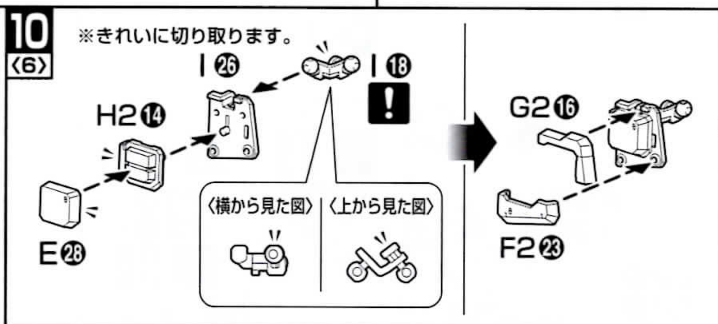
10〈4〉



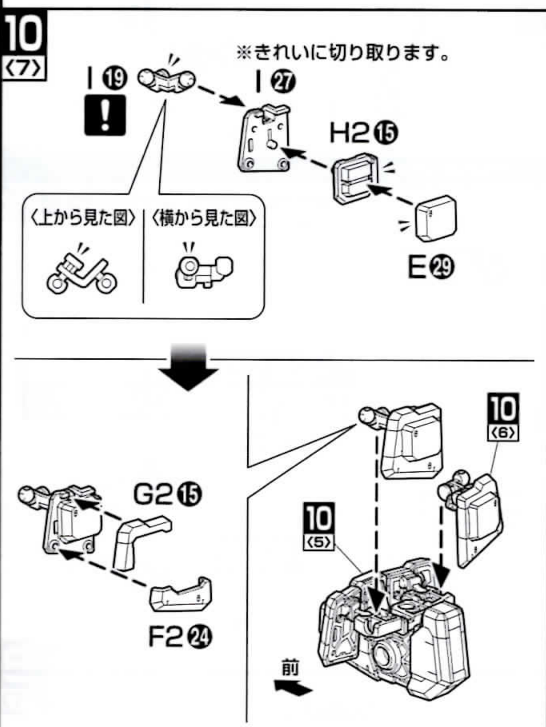
10〈5〉



10〈6〉

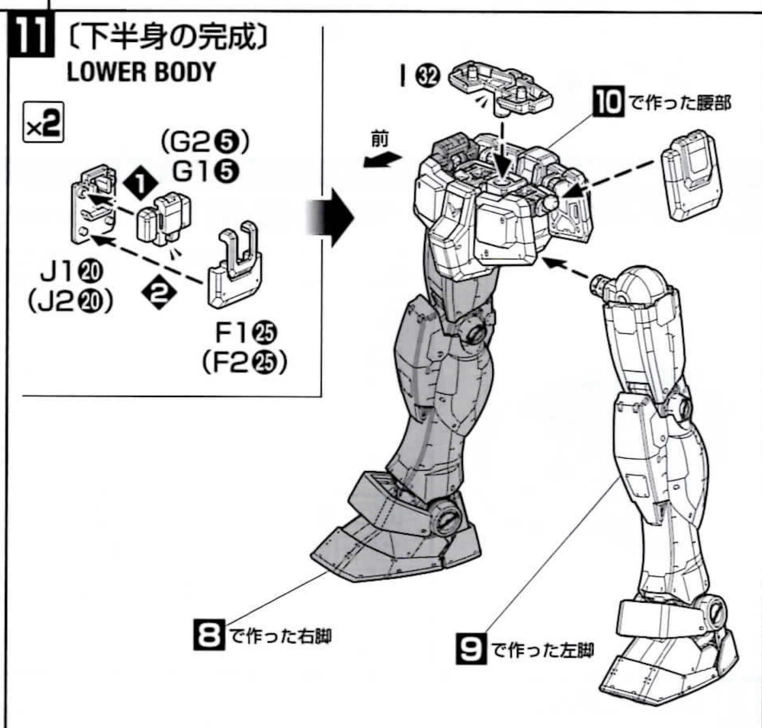


10〈7〉

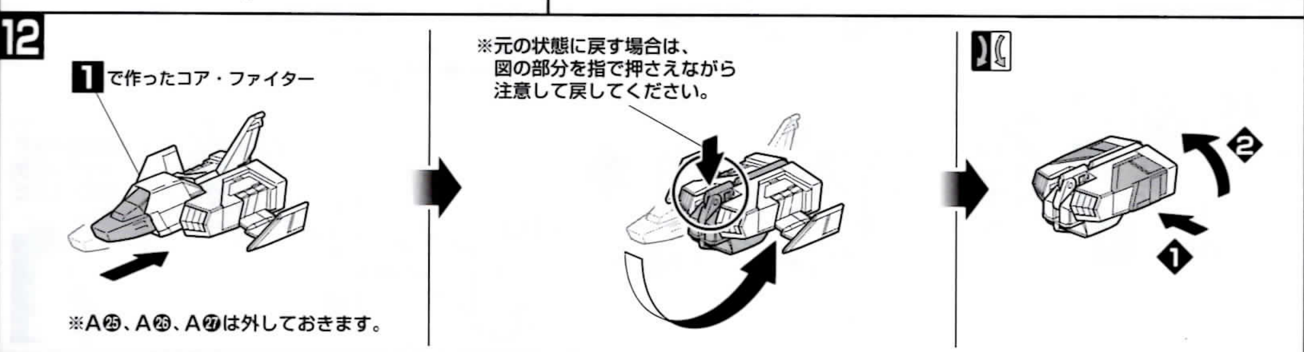


11〔下半身の完成〕

LOWER BODY

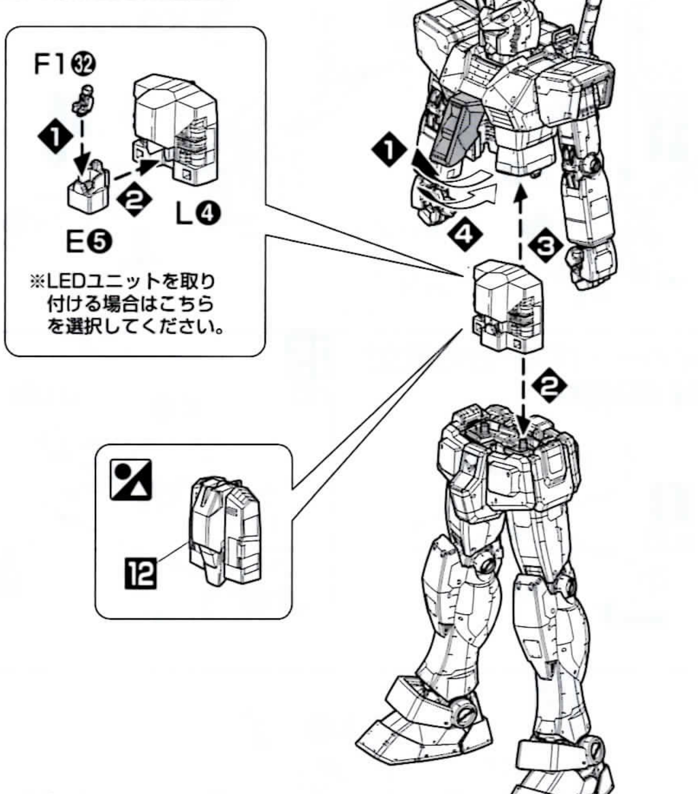


12



※組立図中の記号説明
! 向きに注意して組み立てる
×2 部品を数値の個数作る
両側を同じように動かす

13 〈1〉 〔完成〕 FINAL ASSEMBLE

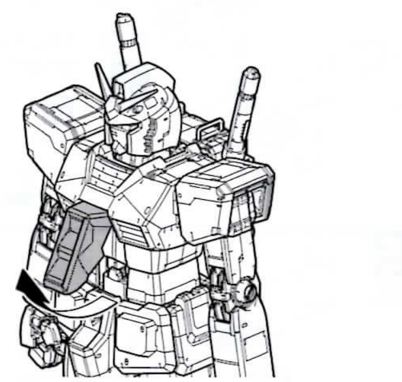


※D❺は好きなところに飾ってください。

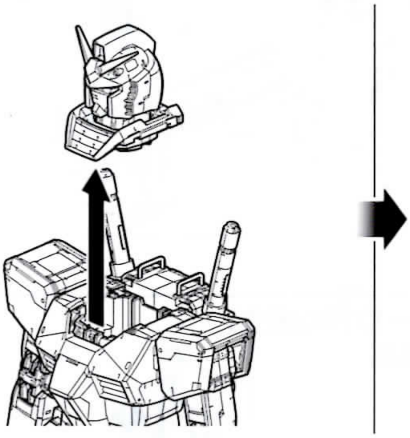
〈コクピットハッチの開け方〉

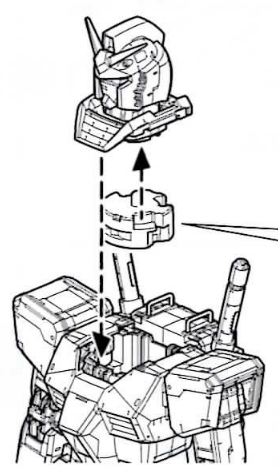


〈コクピットブロックの開け方〉



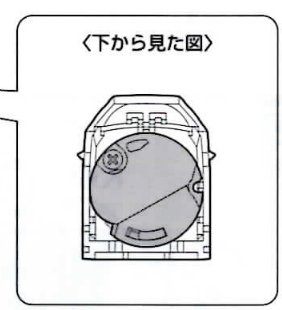
13 〈2〉 〈LEDユニットを点灯させる場合〉





※電池の交換はガンプラ用LEDユニット（イエロー）（別売り）の組立説明書を参照してください。

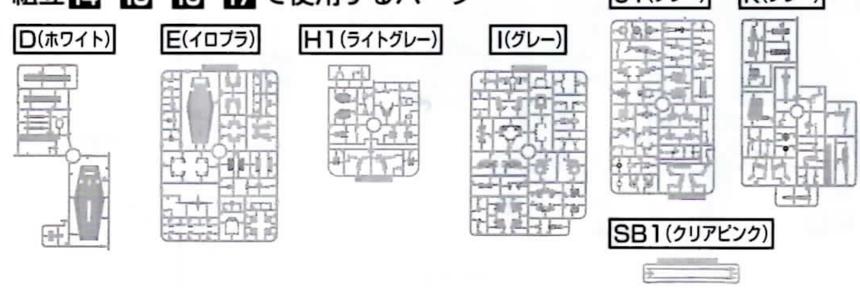
※ご購入の方は5ページをご覧ください。



14 15 16 WEAPONS

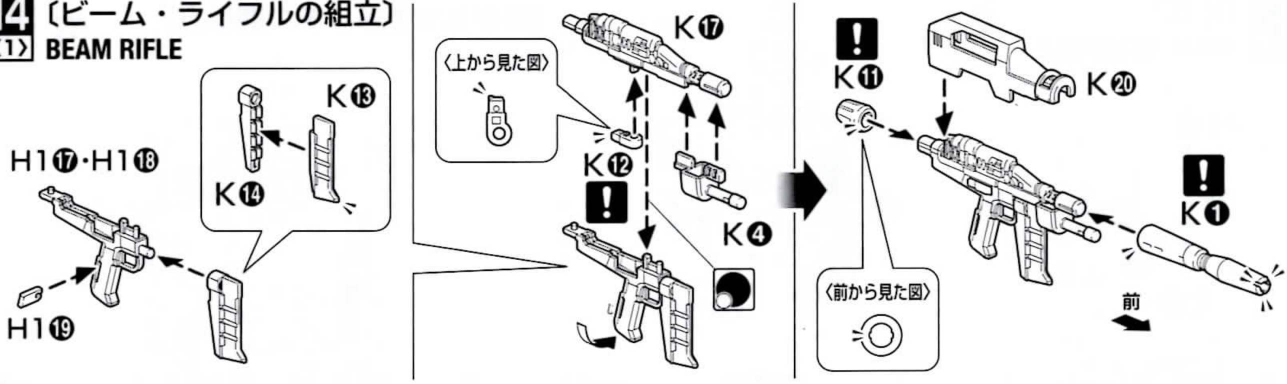


・組立 14・15・16・17 で使用するパーツ

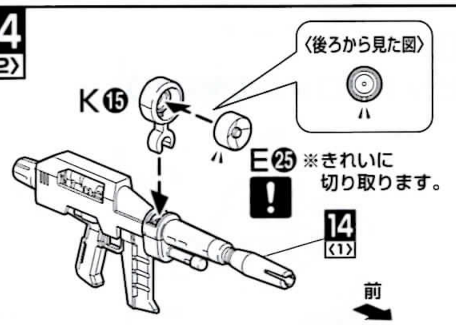


※組立図中の記号説明　どちらかを選んで取りつける

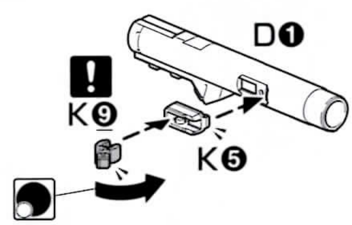
14 〔ビーム・ライフルの組立〕
〈1〉 **BEAM RIFLE**



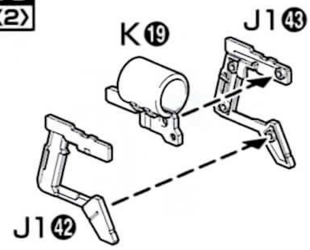
14
〈2〉



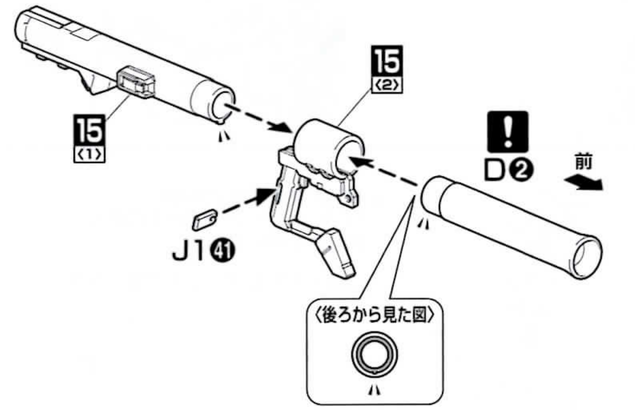
15 〔ハイパー・バズーカの組立〕
〈1〉 **HYPER BAZOOKA**



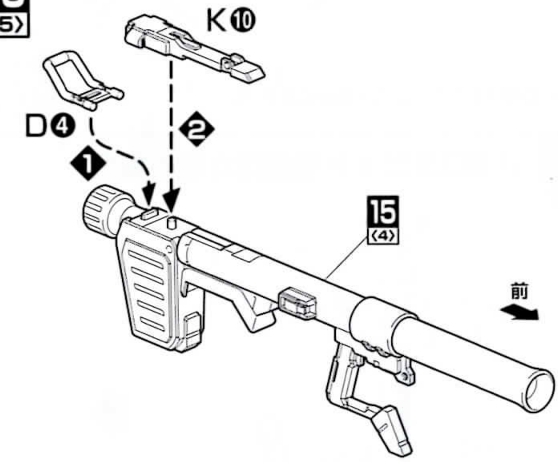
15
〈2〉



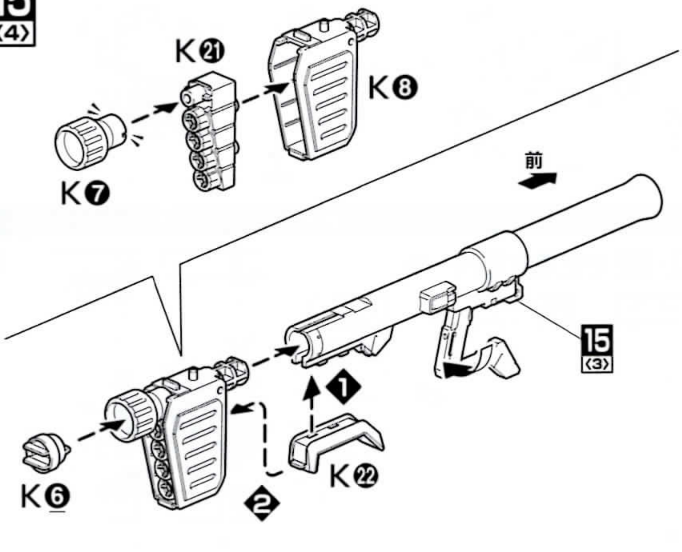
15
〈3〉



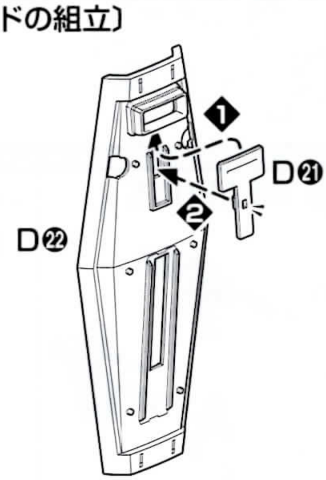
15
〈5〉



15
〈4〉

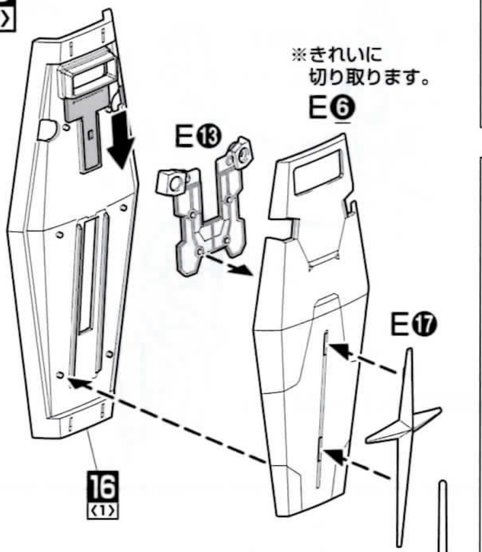


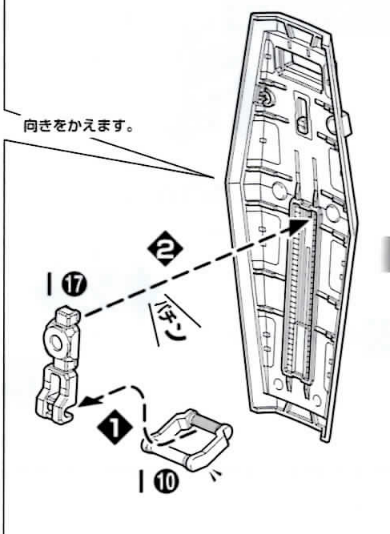
16 〔シールドの組立〕
〈1〉 **SHIELD**

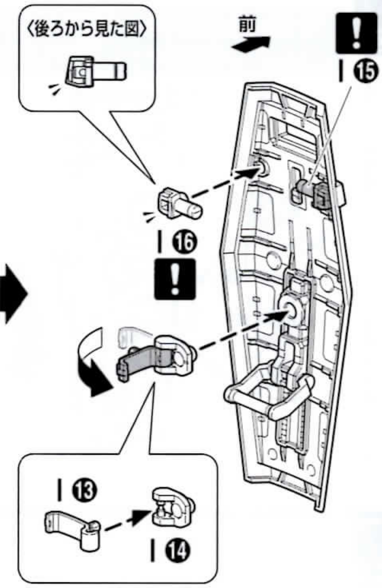


※組立図中の記号説明
! 向きに注意して組み立てる
後から組み立てる

16 ⟨2⟩

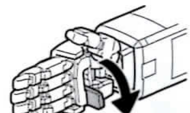




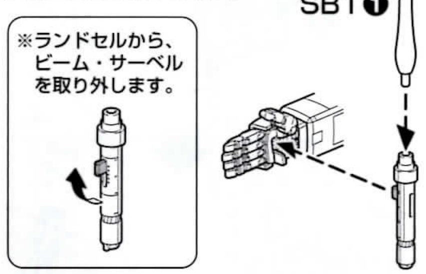


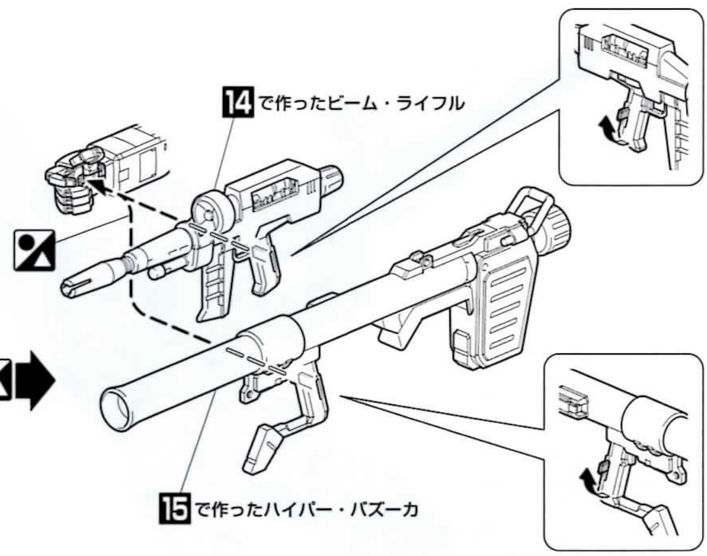
17 ⟨1⟩

※ビーム・ライフル、ハイパー・バズーカ、
ビーム・サーベルを手に持たせるときは、
必ずこの作業を行ってください。

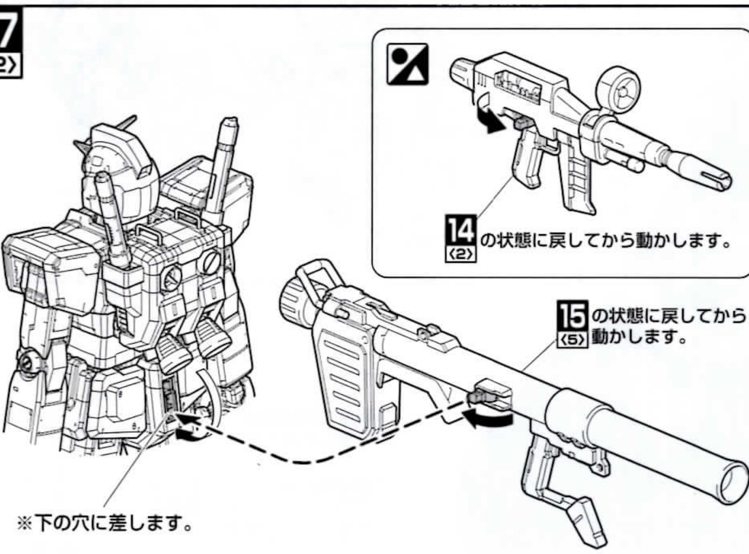


〈左手にも持たせられます。〉





17 ⟨2⟩

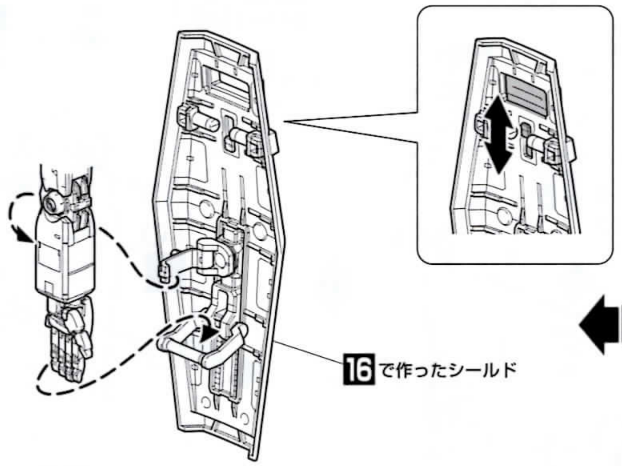


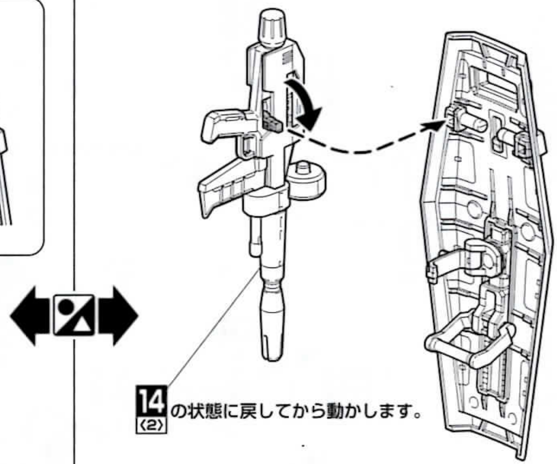


※画像の完成品は塗装してあります。

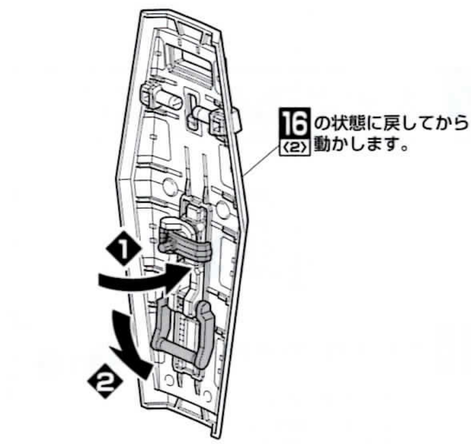
※組立図中の記号説明
- 向きに注意して組み立てる
- 両側に同じパーツを取りつける
- どちらかを選んで取りつける

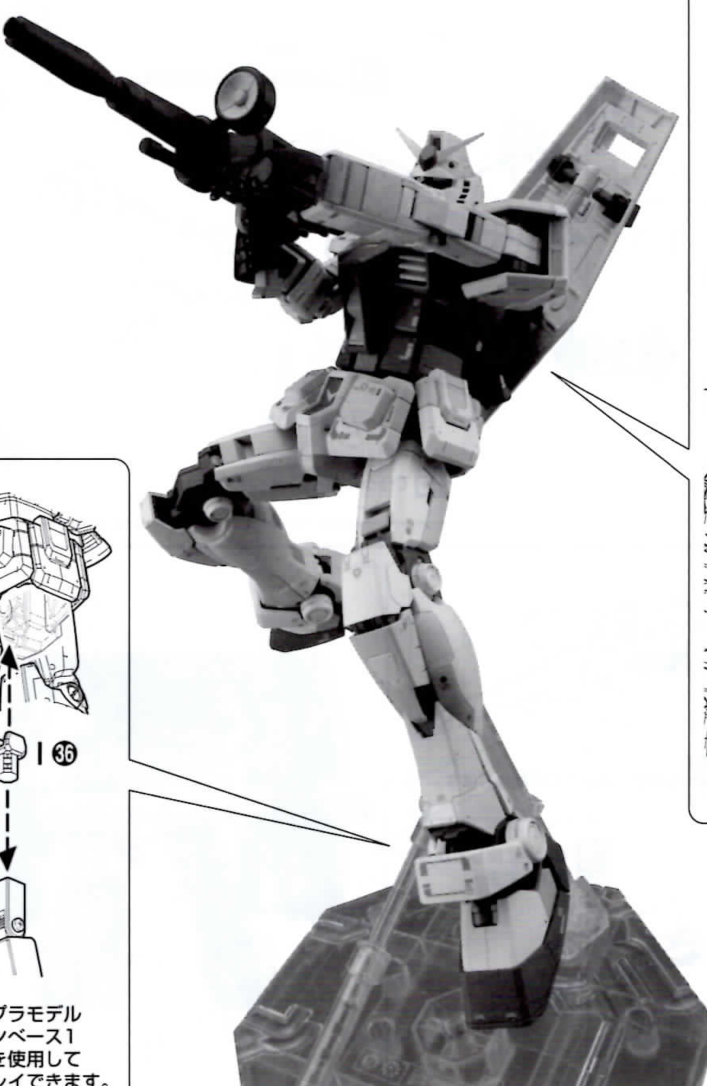
17
〈3〉

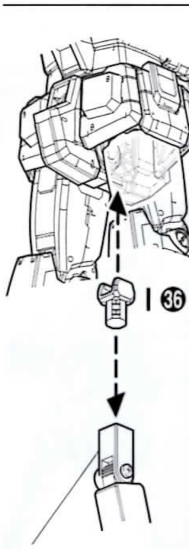




17
〈4〉







※バンダイプラモデル
アクションベース1
(別売り)を使用して
ディスプレイできます。

※画像の完成品は
塗装してあります。

※画像はバンダイプラモデル
アクションベース1(別売り)
を使用しています。

※組立図中の
記号説明

どちらかを選んで取りつける

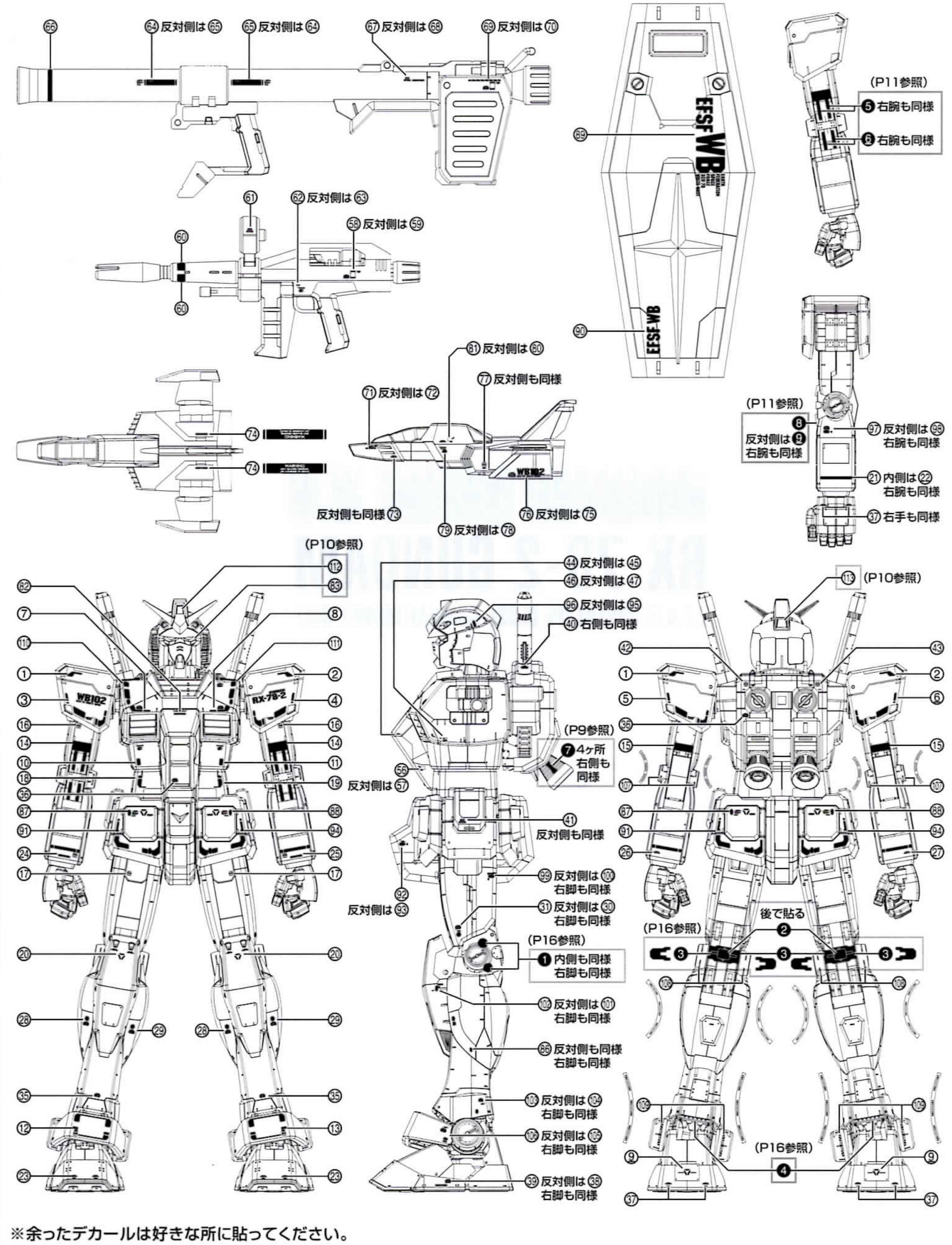
Seal
〈シール〉

下の図を見て、リアリスティックデカールの貼る位置を確認してください。

金属の輝きを表現したデカールは ● に数字で表記してあります。

このリアリスティックデカールはプラモデルオリジナルのものです。貼り指示は一例ですのでイメージに合わせてお貼りください。

※ □ 内のデカールは組み立てる前に貼ることをお勧めします。 ※デカールを貼る際にはピンセット（別売り）などのご使用をお勧めします。



※余ったデカールは好きな所に貼ってください。

MASTER GRADE 3.0

RX-78-2 GUNDAM

E.F.S.F. PROTOTYPE CLOSE-COMBAT MOBILE SUIT

E.F.S.F.

※コピー不可

MG RX-78-2
ガンダム Ver.3.0

◀···· キャンペーンを実施する場合があります。応募する際に使用するのでとっておいてください。